

省エネ法に基づく ラベリング制度の 理解と活用

2022年10月



経済産業省
資源エネルギー庁



「省エネ法に基づくラベリング制度の理解と活用」カリキュラム全体像

章	課目	ねらい	主な内容	主な対象者	
				販売部門 管理者等	販売員 等
1	家庭部門の省エネの必要性と 小売事業者等の担う役割	- 家庭部門の省エネ促進の必要性を理解する。 - 家電販売員等が、生活の快適性の向上と省エネ促進の両立を可能とする重要な担い手であることを理解する。	- 世界および日本全体からみた家庭部門の省エネの必要性 - 家庭の省エネの難しさと家電販売員の担う重要な役割 - ラベリング制度の効果	◎	◎
2	省エネ法と小売事業者表示制度 ・トップランナー制度 ・省エネルギーラベリング制度 ・小売事業者表示制度	- 小売事業者表示制度が省エネ法に基づく制度であることを理解する。 - トップランナー制度等の小売事業者表示制度に関連のあるその他の制度を理解する。	- 省エネ法と小売事業者表示制度の関係 - トップランナー制度の概要 - トップランナー制度、省エネ性マーク、統一省エネラベルとの関係	◎	
3	小売事業者表示制度の概要	小売事業者表示制度全般を理解する。	- 対象品目 - 統一省エネラベル、統一省エネラベルのミニラベル及び簡易版ラベルの内容	◎	◎
4	新しい統一省エネラベルの解説	- 多段階評価基準改正の背景を理解する。 - 新しい多段階評価基準を理解する。	- 多段階評価基準改定の背景と意図 - 新たな多段階評価基準の内容	◎	◎
5	省エネ型機器の販売を促進する支援ツール ・省エネ型製品情報サイト ・しんきゅうさん	「省エネ型製品情報サイト」や「しんきゅうさん」の利用方法を理解する。	- 情報サイトにおける情報検索、ラベル打ち出し方法 - しんきゅうさんにおける情報検索、検索結果の利用方法		◎
6	応用編：Q&A、説明用の例題	統一省エネラベルの説明力を高めるスキルを習得する。	- Q&A（多段階評価、省エネルギーラベル、年間目安エネルギー料金） - 例題（冷蔵庫等の買換え）		◎



1. 家庭部門の省エネの必要性和 小売事業者等の担う役割

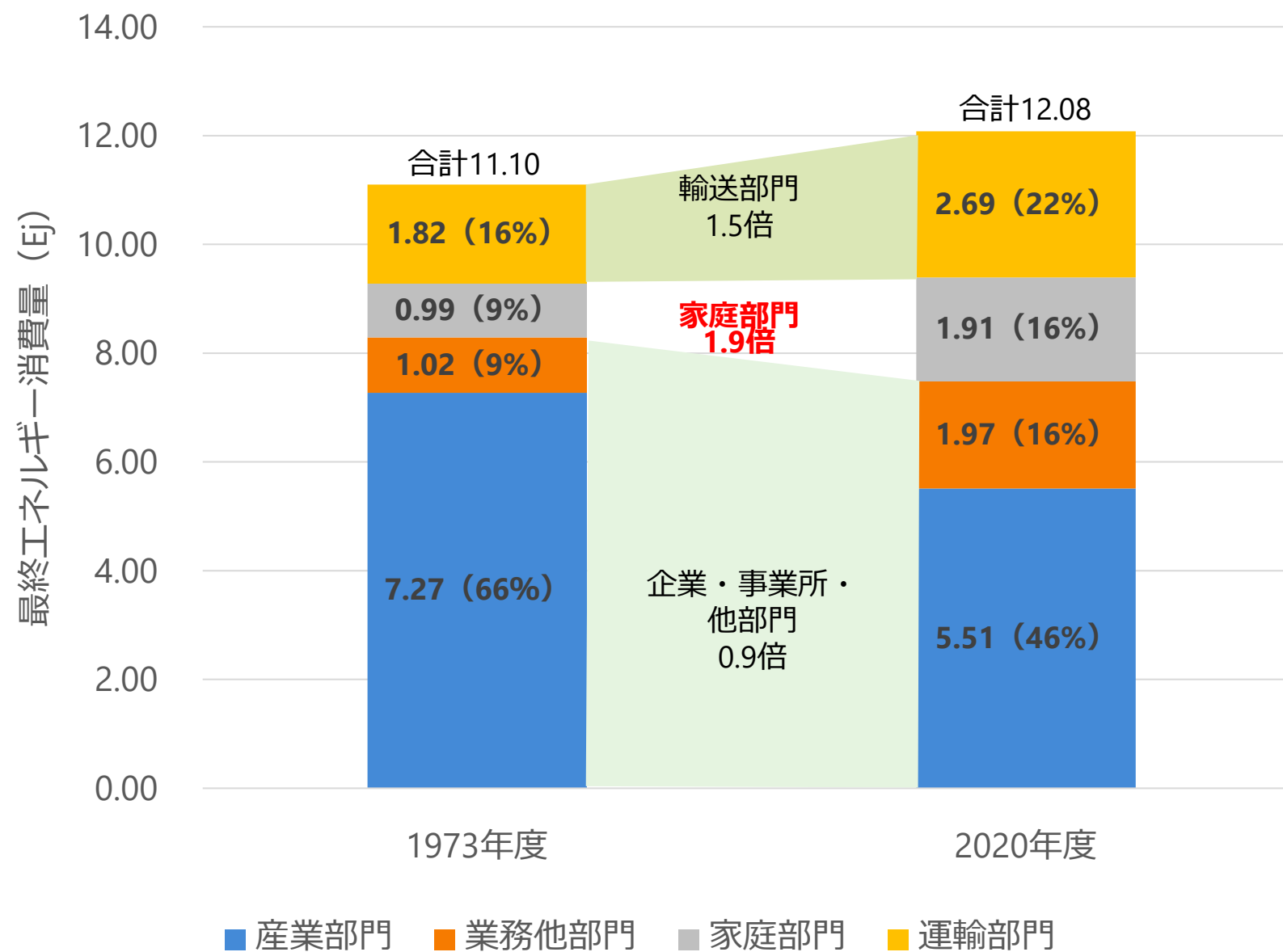
＜ねらい＞

- 家庭部門の省エネ促進の必要性を理解する。
- 家電販売員等が、生活の快適性の向上と省エネ促進の両立を可能とする重要な担い手であることを理解する。

1-1. 日本のエネルギー消費量の推移

家庭部門のエネルギー消費量は増加し、**2020年度の消費量は1973年度の1.9倍**に。

日本の最終エネルギー消費量の推移

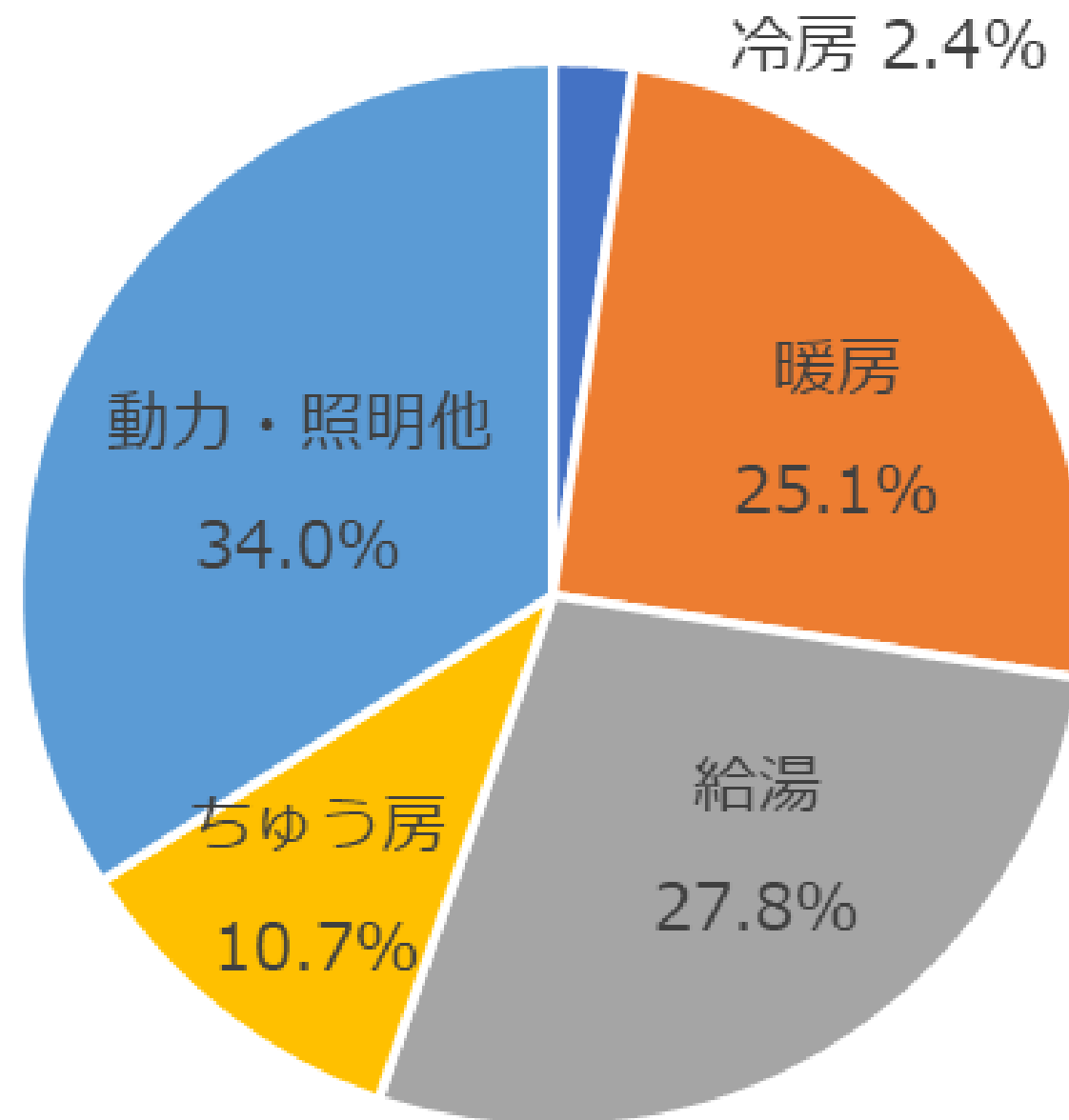


出所：「エネルギー白書2022」資源エネルギー庁

1-2. 家庭のエネルギー消費の用途別内訳

動力（冷蔵庫等の大型家電）や照明の消費割合が3分の1を占める。暖房や給湯の消費割合もそれぞれ25%、28%と大きい。

家庭のエネルギー消費量の用途別割合（2020年度）



出所：「エネルギー白書2022」資源エネルギー庁

1-3. 地球温暖化による影響

近年、日本においても異常気象が頻発している。個々の気象現象と地球温暖化との関係を明確にすることは容易ではないが、地球温暖化の進行に伴い、今後、豪雨災害や猛暑のリスクが更に高まることが予想されている。

2019年10月 東日本台風による被害の様子



出所：「令和2年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」環境省

2021年8月 大雨による被害の様子



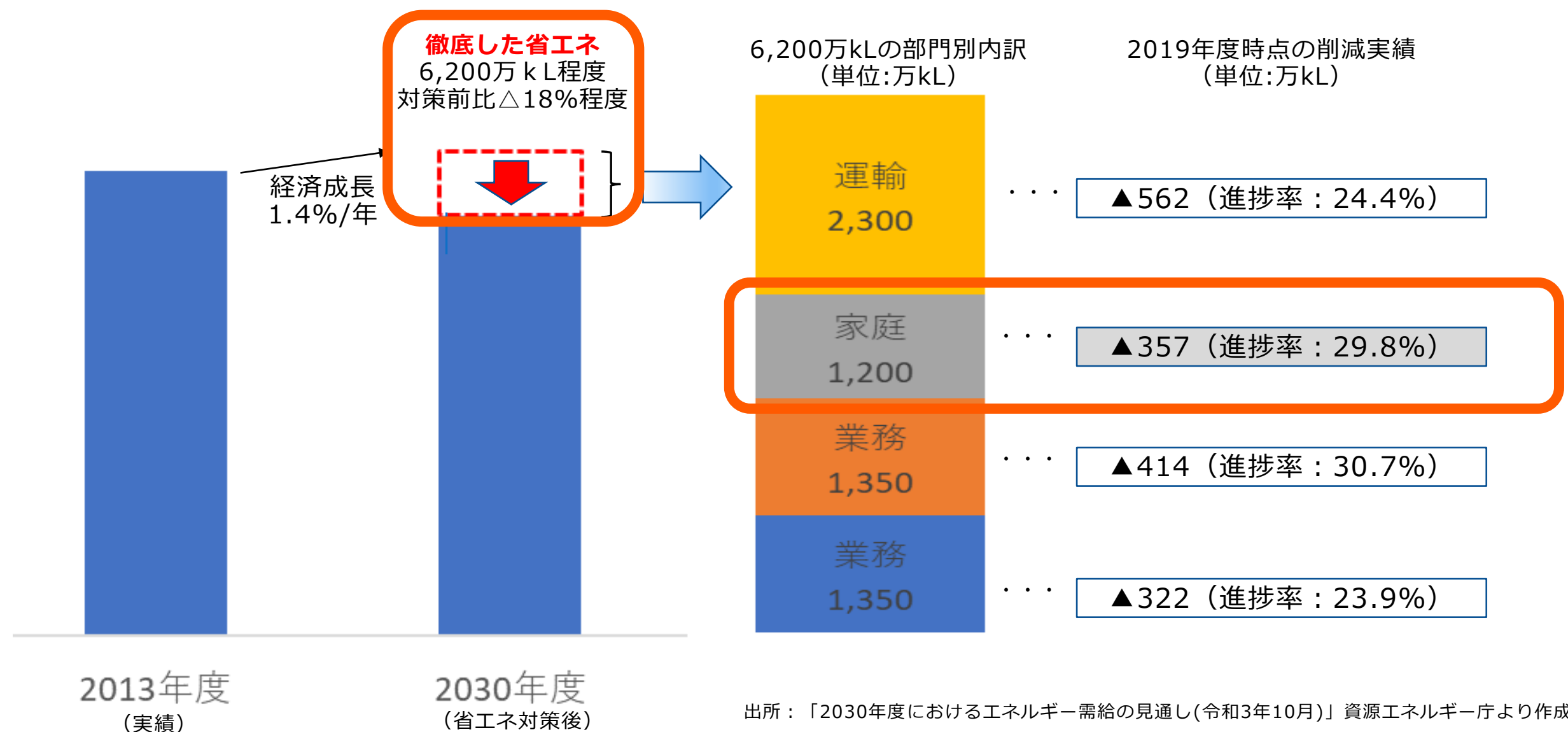
出所：「令和4年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」環境省

1-4. カーボンニュートラル宣言と省エネルギーへの取組

日本は、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2021年4月に**2030年度の温室効果ガス排出削減目標として、2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける**との新たな方針を示した。それらを踏まえた「第6次エネルギー基本計画」では、徹底した省エネルギーによる2013年度比0.6億kL程度のエネルギー削減が見込まれている。

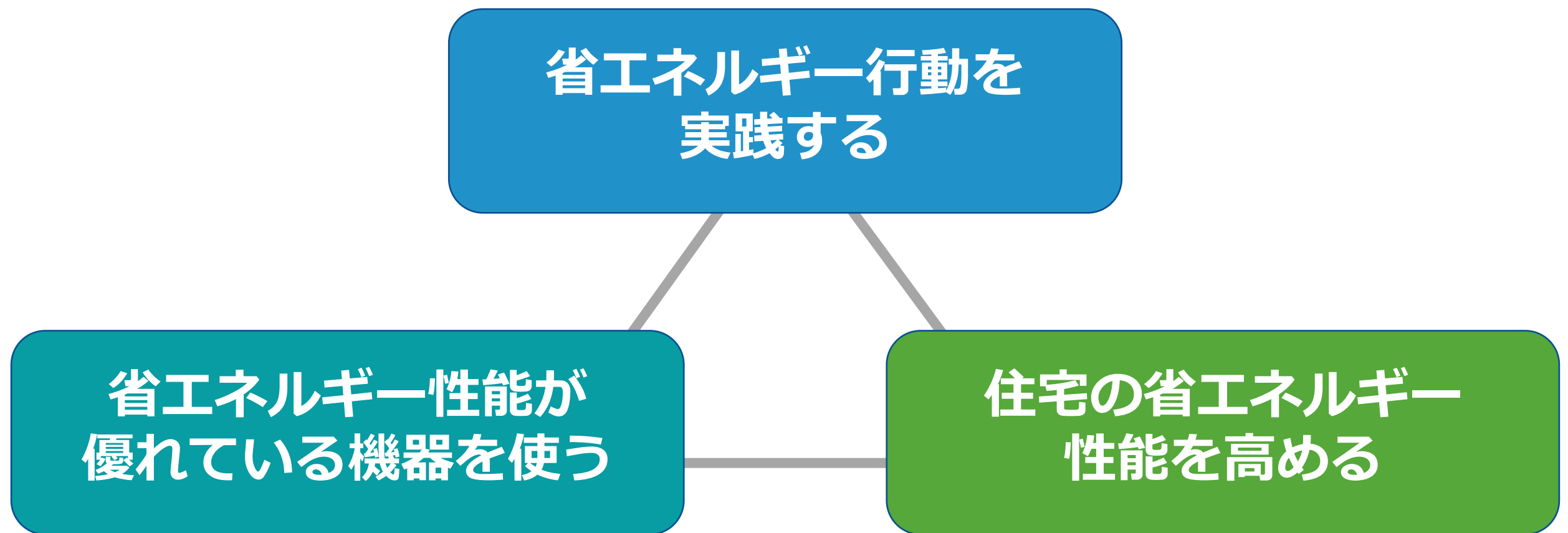
徹底した省エネルギーの実現は、エネルギーを起源とするCO₂排出量の削減につながる。

長期エネルギー需給見通しにおける2030年度のエネルギー需要



1-5. 家庭の省エネ推進に必要な3要素

「省エネルギー性能が優れている機器を使う」「省エネルギー行動を実践する」「住宅の省エネルギー性能を高める」ことで家庭の省エネを推進することができる。



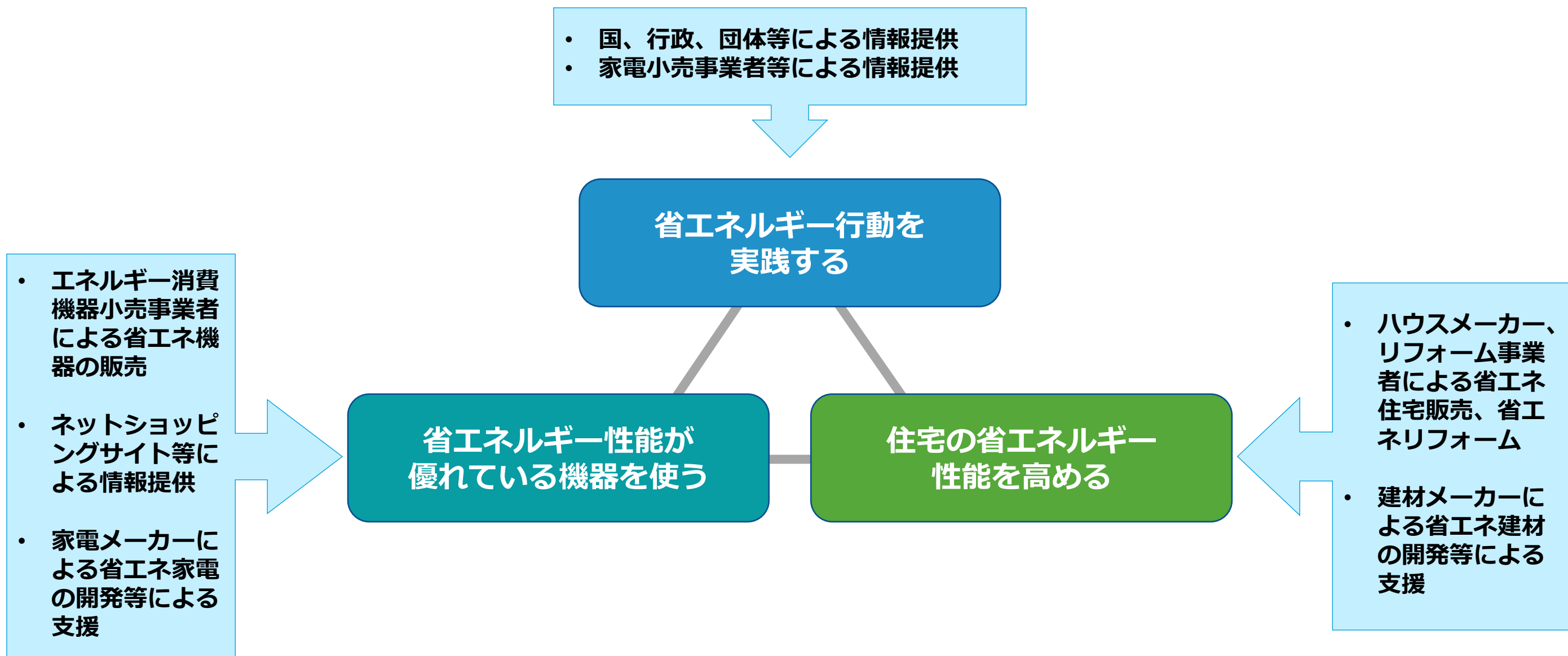
出所：「家庭の省エネエキスパート検定 検定公式テキスト5版」一般財団法人省エネルギーセンターを編集

1-6. 小売事業者等は家庭の省エネを支援するキープレイヤー

消費者に「省エネルギー性能が優れている機器を使う」「省エネルギー行動を実践する」「住宅の省エネルギー性能を高める」よう規制することは困難なため、これらの行動を促す関係者からの支援が重要。

特に家電製品等の販売員は、消費者と直接接点を持つことができ、それぞれの要望や事情に合わせた最適な製品の提供やアドバイスができる影響力のある存在。

ネットショッピングサイトや比較サイト等における情報提供も消費者の選択に影響を与えている。



1-7. 省エネ型機器普及のための小売事業者表示制度

消費者が家電製品等を購入するときに、省エネ性能が優れている製品を選ぶよう支援するために開始されたのが「小売事業者表示制度」。

家電製品の小売事業者等から消費者に対して、製品の省エネ性能や経済性を示したラベルを表示し、省エネに関する情報提供が行われることにより、省エネ性能が優れている製品の選択を促すもの。

統一省エネラベル（例：冷蔵庫）



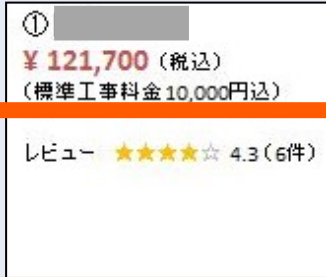
簡易版ラベル（例：電球）



1-8. ラベル表示の効果

仮想のECサイトを使った実験の結果より、多段階表示（★の数による省エネ性能の表示）や電気料金の提示が、消費者の省エネ製品の購入につながることを確認された。

1グループごとに省エネ性能の異なるエアコン12製品を表示して、消費者に購入したい製品を選択してもらった。6グループに異なる省エネ表示等を行い、選択した製品の省エネ性能（★の数）を比較した。

表示した内容	①エネルギーの情報なし	②★の数による省エネ性能	③同左 (デザインにより強調)	④年間目安電気料金	⑤省エネ基準達成率	⑥全表示
ラベルの例						

※赤枠内の表示を変更して消費者の製品選択がどう変わるか検証

選択した製品の省エネ性能（★の数）の平均値	3.44	3.62	3.63	3.68	3.51	3.79
-----------------------	------	------	------	------	------	------

赤字のものは統計的に有意（＝省エネ製品の購入につながる情報）



2. 省エネ法と小売事業者表示制度

- トップランナー制度
- 省エネルギーラベリング制度
- 小売事業者表示制度

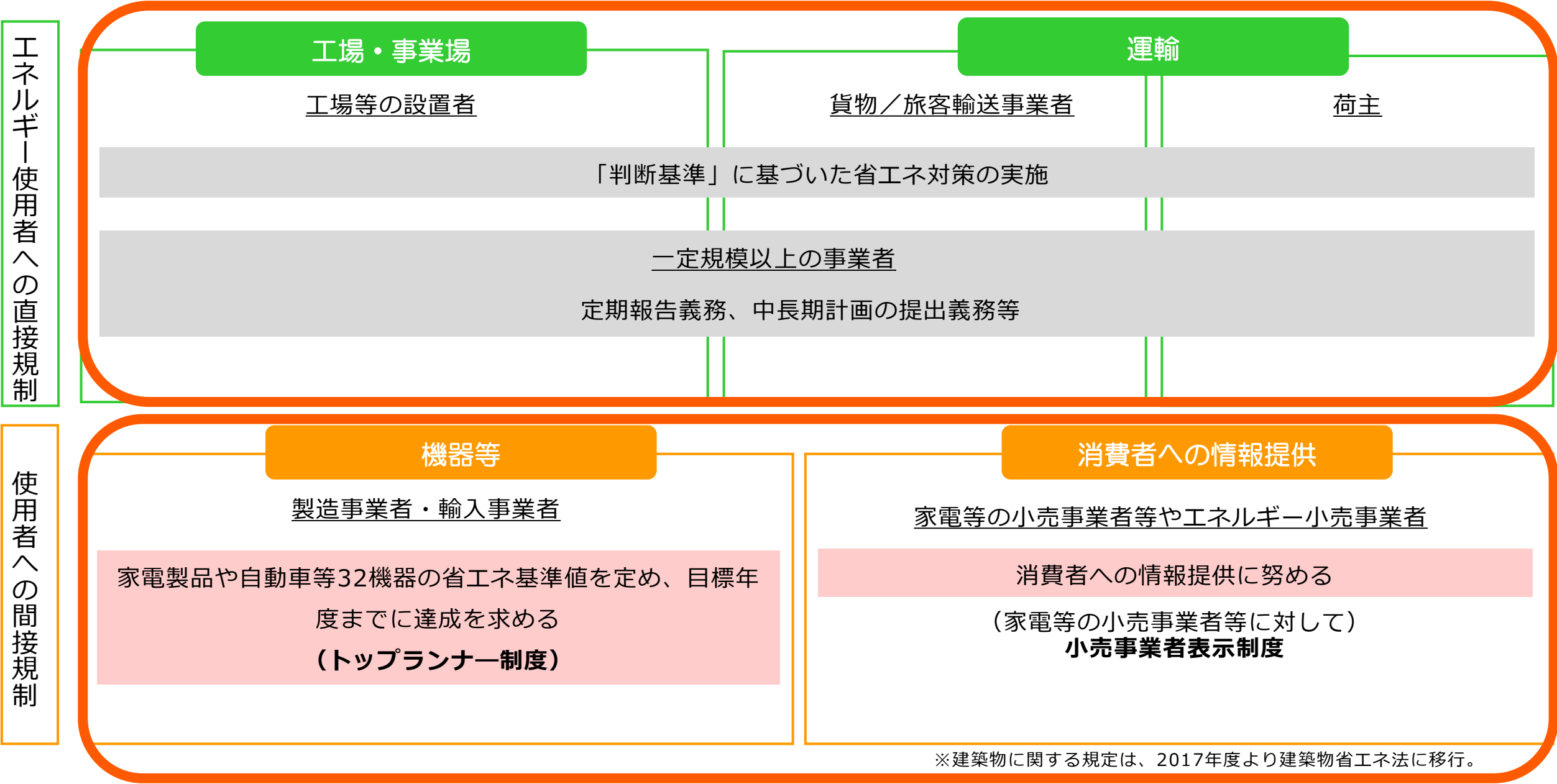
<ねらい>

- 小売事業者表示制度が省エネ法に基づく制度であることを理解する。
- トップランナー制度等の小売事業者表示制度に関連のあるその他の制度を理解する。

2-1. 省エネ法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律※） 概要

※エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（2022年5月公布、2023年4月施行）

省エネ法は、工場・事業場や運輸部門における省エネの取組、省エネ性能が優れている機器の開発・供給、小売事業者等による消費者への省エネに関する情報提供について定めている。



2-2. トップランナー制度から小売事業者表示制度までの流れ

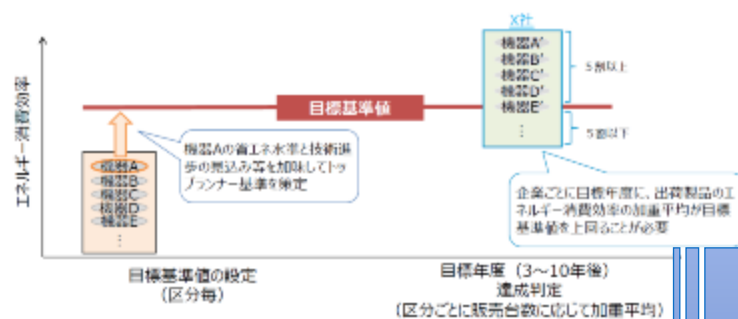
1998年に導入されたトップランナー制度により省エネ基準が定められ、家電製品等の省エネ化が図られてきた。

2000年には、省エネルギー性能を消費者に示すため、省エネ基準の達成率等を示した**省エネルギーラベリング制度**が開始された。

2006年には、省エネルギーラベルに加えて★の数による省エネ性能の表示や省エネ性能の違いを理解しやすくするための、1年間使用した場合の目安となるエネルギー料金等を表示する**小売事業者表示制度**が開始された。

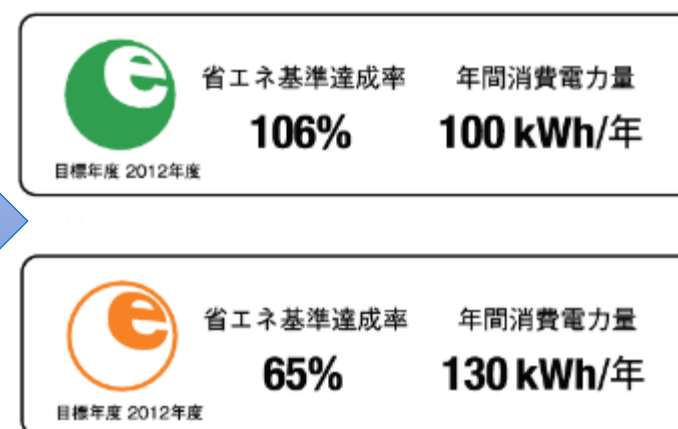
1998年制度導入

トップランナー制度



2000年制度開始

省エネルギーラベリング制度



省エネルギーラベル

2006年制度開始

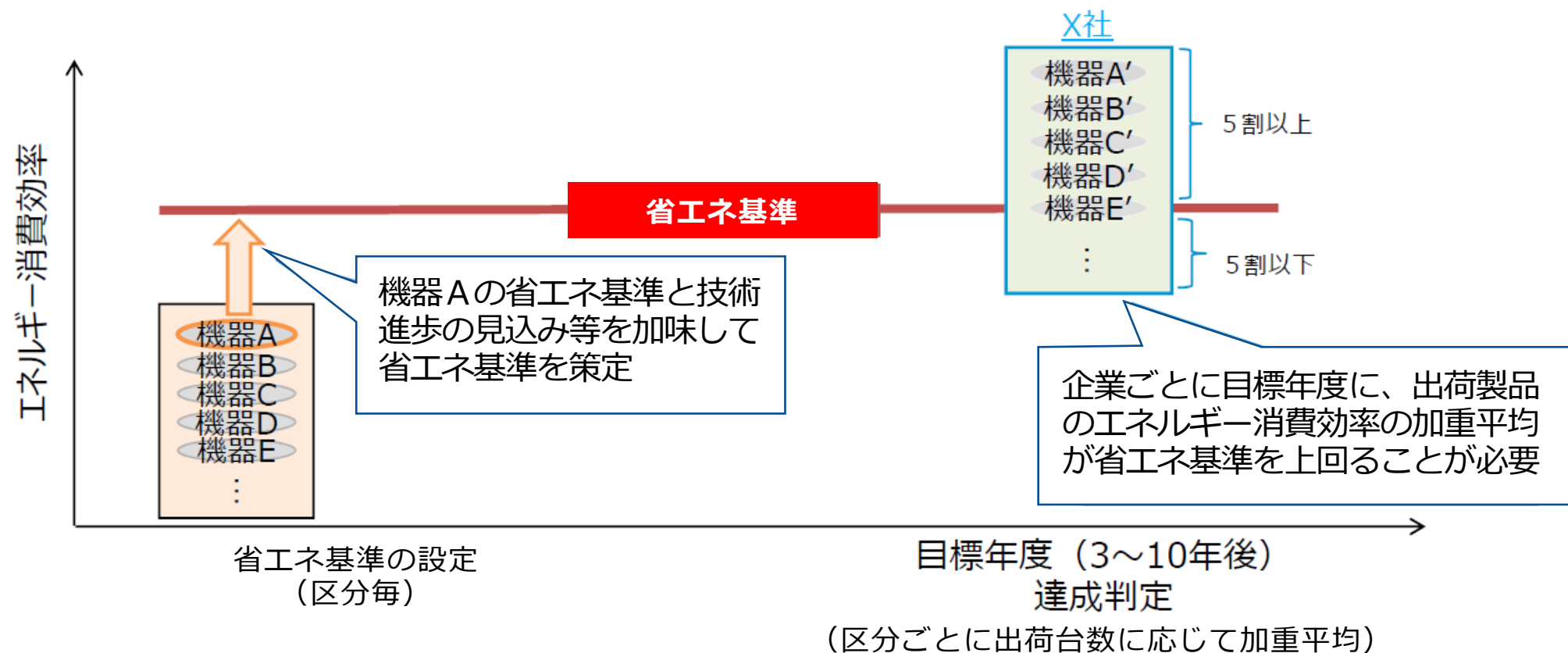
小売事業者表示制度



統一省エネラベル
(新ラベル)

2-3. トップランナー制度の概要

機器ごとに省エネ基準（トップランナー基準）を定め、製造事業者・輸入事業者に対し、目標年度までに、その基準を達成することを求めている。



省エネ基準の例（冷蔵庫）

区分	省エネ基準算定式 (kWh/年)
自然対流式	$0.735V_3 + 122$
強制循環式 ($V \leq 375$)	$0.199V_3 + 265$
強制循環式 ($V > 375$)	$0.281V_3 + 112$

V : 定格内容積 (L)、
 V_3 : 調整内容積 (L)
 (貯蔵室の種類や大きさによって調整)

2-4. トップランナー制度の対象機器

トップランナー制度の対象機器には、エネルギー消費機器と建築材料がある。

対象となるエネルギー消費機器の要件は、①我が国において大量に使用され、②その使用に際し相当量のエネルギーを消費し、③エネルギー効率向上を図ることが特に必要であるもの。

[エネルギー消費機器]

1. 乗用自動車	12. ストーブ	23. スイッチング機器 (L2スイッチ)
2. エアコン	13. ガス調理機器	24. 複合機
3. 照明器具 (LED電灯器具、蛍光灯器具)	14. ガス温水機器	25. プリンター
4. テレビ	15. 石油温水機器	26. 電気温水機器 (ヒートポンプ給湯機)
5. 複写機	16. 電気便座	27. 交流電動機
6. 電子計算機 (コンピュータ、サーバ)	17. 自動販売機	28. 電球 (LED電球、電球形蛍光灯、白熱電球)
7. 磁気ディスク装置	18. 変圧器	29. ショーケース
8. 貨物自動車	19. ジャー炊飯器	
9. ビデオテープレコーダー	20. 電子レンジ	
10. 電気冷蔵庫 (冷蔵庫、冷凍冷蔵庫)	21. DVDレコーダー	
11. 電気冷凍庫	22. ルーティング機器 (小型ルーター)	

[建築材料]

30. 断熱材
31. サッシ
32. 複層ガラス

2-5. トップランナー制度の評価指標の見方

機器ごとに、省エネ基準（トップランナー基準）の達成状況を判断するための評価指標が定められている。

評価指標によって、数値が小さい方が省エネ性能が優れている場合と、大きい方が優れている場合がある。

評価指標が【年間消費電力量】のもの
値が**小さい方**が省エネ性能が優れている

(例) テレビ
電気冷蔵庫
電気冷凍庫
電気便座
ジャー炊飯器
電子レンジ

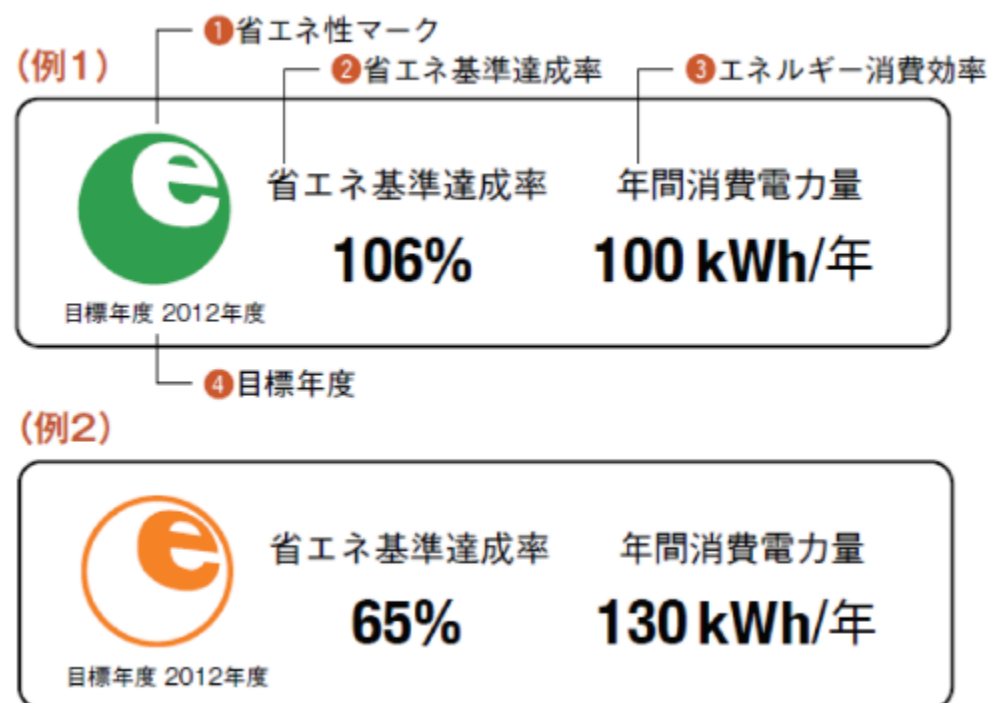
評価指標が【エネルギー消費効率値】のもの
値が**大きい方**が省エネ性能が優れている

(例) エアコン
照明器具
電球
ガス温水機器
石油温水機器
電気温水機器

2-6. 省エネルギーラベリング制度の概要

トップランナー制度の省エネ基準をどの程度達成しているかを分かりやすく示すことができるラベル。
日本産業規格（JIS）により2000年に規格化されている。

〔省エネルギーラベルの内容〕



①省エネ性マーク

トップランナー制度における省エネ基準の達成状況を示すマーク。

②で示す省エネ基準達成率に基づく。

達成率が100%以上の場合：緑色

達成率が100%未満の場合：オレンジ色

②省エネ基準達成率

省エネ基準をどの程度達成しているかを%で表示。

③エネルギー消費効率

トップランナー制度における評価指標に基づいた省エネ性能値。

④目標年度

トップランナー制度において定められた省エネ基準達成の目標年度。

＜省エネ基準達成率の算出方法＞

照明器具 製品A（温白色）の省エネルギーラベル



[この製品の区分]：照明器具 温白色・電球色

[この製品の省エネ性能（固有エネルギー消費効率）]：102.6 lm/W

[この区分の省エネ基準]：50.0 lm/W

省エネ基準達成率 = $102.6 \div 50.0 \times 100 = 205\%$ （小数点以下切捨）

2-7. 省エネルギーラベリング制度の対象機器

トップランナー制度の対象機器（エネルギー消費機器）29機器のうち、22機器が省エネルギーラベリング制度の対象になっている。

[トップランナー制度の対象機器（エネルギー消費機器と省エネルギーラベリング制度の対象機器）]

1. 乗用自動車
2. エアコン
3. 照明器具 (LED電灯器具、蛍光灯器具)
4. テレビ
5. 複写機
6. 電子計算機 (コンピュータ、サーバ)
7. 磁気ディスク装置
8. 貨物自動車
9. ビデオテープレコーダー
10. 電気冷蔵庫 (冷蔵庫・冷凍冷蔵庫)
11. 電気冷凍庫

12. ストーブ
13. ガス調理機器
14. ガス温水機器
15. 石油温水機器
16. 電気便座
17. 自動販売機
18. 変圧器
19. ジャー炊飯器
20. 電子レンジ
21. DVDレコーダー
22. ルーティング機器 (小型ルーター)

23. スイッチング機器 (L2スイッチ)
24. 複合機
25. プリンター
26. 電気温水機器 (ヒートポンプ給湯機)
27. 交流電動機
28. 電球 (LED電球、電球形蛍光灯、白熱電球)
29. ショーケース

 省エネルギーラベリング
制度の対象機器

2-8. 小売事業者表示制度の概要

消費者が家電製品等を購入するときに、省エネ性能が優れている製品を選ぶよう支援するために開始されたのが「小売事業者表示制度」。

家電製品の小売事業者等から消費者に対して、製品の省エネ性能や経済性を示したラベルを表示する等、省エネに関する情報を提供するように努めることが、省エネ法に規定されている。

統一省エネラベル（例：冷蔵庫）



簡易版ラベル（例：電球）



2-9. 小売事業者表示制度の対象機器

トップランナー制度の対象機器（エネルギー消費機器）29機器のうち、20機器が小売事業者表示制度の対象になっている。

各制度の対象機器

[トップランナー制度（エネルギー消費機器）、省エネルギーラベリング制度、小売事業者表示制度]

1. 乗用自動車	12. ストーブ	23. スイッチング機器 (L2スイッチ)
2. エアコン	13. ガス調理機器	24. 複合機
3. 照明器具 (LED電灯器具、蛍光灯器具)	14. ガス温水機器	25. プリンター
4. テレビ	15. 石油温水機器	26. 電気温水機器 (ヒートポンプ給湯機)
5. 複写機	16. 電気便座	27. 交流電動機
6. 電子計算機 (コンピュータ、サーバ)	17. 自動販売機	28. 電球 (LED電球、電球形蛍光灯、白熱電球)
7. 磁気ディスク装置	18. 変圧器	29. ショーケース
8. 貨物自動車	19. ジャー炊飯器	
9. ビデオテープレコーダー	20. 電子レンジ	省エネルギーラベリング 制度の対象機器
10. 電気冷蔵庫 (冷蔵庫・冷凍冷蔵庫)	21. DVDレコーダー	
11. 電気冷凍庫	22. ルーティング機器 (小型ルーター)	小売事業者表示制度の 対象機器



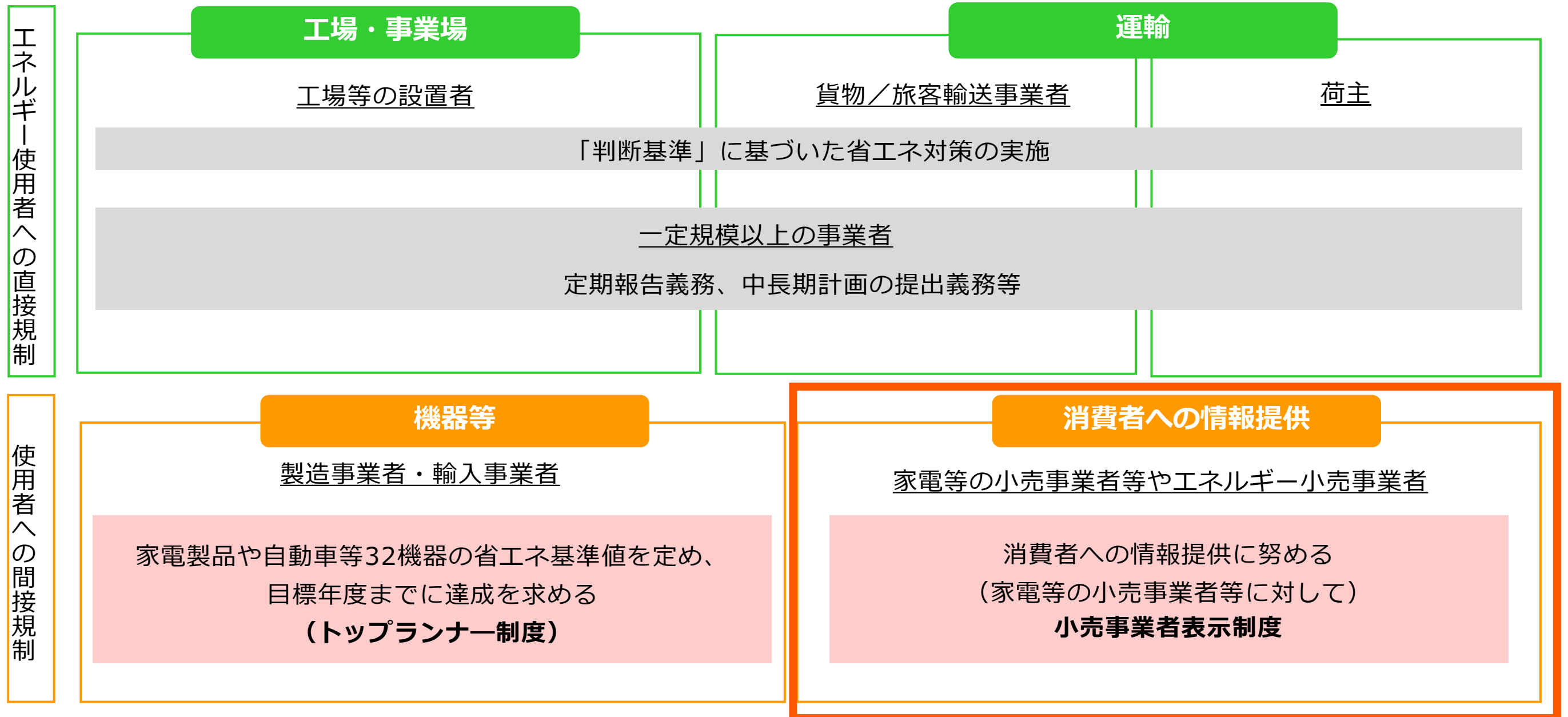
3 . 小売事業者表示制度の概要

<ねらい>

- 小売事業者表示制度全般を理解する。

3-1. 小売事業者表示制度の位置づけ

小売事業者表示制度は、省エネ法に規定されている家電等の小売事業者等に対する「消費者への情報提供」の具体策として導入されている。



3-2. 小売事業者表示制度の表示事項

対象20機器について、機器の市場や特性に応じて、それぞれ表示事項（「多段階評価点」「省エネルギーラベル」「年間目安エネルギー料金」）が定められている。

これら機器の小売事業者等※¹には、製品本体またはその近傍、インターネット販売の場合は製品掲載ページの製品近傍に、統一省エネラベル等の表示により情報提供をするよう努めることが求められている。

※1 小売事業者等とは、小売事業者及びその事業活動を通じて消費者の省エネに協力できる事業者（インターネットショッピングモール設置事業者等）をいう。

小売事業者表示制度の対象機器、表示事項及びラベルの種類

	表示事項			ラベルの種類	
	多段階評価点	省エネルギーラベル	年間目安エネルギー料金	統一省エネラベル	簡易版ラベル
エアコン	○	○	○	○	
照明器具 (LED器具、蛍光灯器具)	○	○	○	○	
テレビ	○	○	○	○	
電子計算機 (コンピュータ、サーバ)		○			○
磁気ディスク装置		○			○
ビデオテープレコーダー			○		○
電気冷蔵庫 (冷蔵庫、冷凍冷蔵庫)	○	○	○	○	
電気冷凍庫	○	○	○	○	
ストーブ		○			○
ガス調理機器		○	○		○
ガス温水機器	○	○	○	○	
ガス温水機器 (暖房機能付き)		○			○

	表示事項			ラベルの種類	
	多段階評価点	省エネルギーラベル	年間目安エネルギー料金	統一省エネラベル	簡易版ラベル
石油温水機器	○	○	○	○	
石油温水機器 (暖房機能付き)		○			○
電気便座	○	○	○	○	
ジャー炊飯器		○	○		○
電子レンジ		○	○		○
DVDレコーダー		○	○		○
ルーティング機器 (小型ルーター)		○			○
スイッチング機器 (L2スイッチ)		○			○
電気温水機器※ ² (ヒートポンプ給湯機)	○	○	○	○	
電球 (LED電球、電球形 蛍光灯、白熱電球)		○	○		○

※2 暖房機能付きは対象外

3-3. 統一省エネラベルの対象機器と表示内容

特に機器単体のエネルギー消費量が大きく、製品ごとの省エネ性能の差が大きいエアコン、照明器具、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、電気便座、温水機器は、次の3つの項目の記載のある統一省エネラベルを表示する。

電気冷蔵庫の例



①多段階評価点

市場における製品の省エネ性能が優れている順に5.0～1.0までの0.1刻みの41段階で表示（多段階評価点）。その点数に応じて、5つ★から1つ★までの半星を含めた星を表示。

②省エネルギーラベル

トップランナー制度における、機器区分ごとに定められた省エネ基準をどの程度達成しているかを示すラベル。（詳細は「2-6.省エネルギーラベリング制度の概要」を参照）

③年間目安エネルギー料金

当該製品を1年間使用した場合の経済性を示すために、年間目安エネルギー料金を表示。
※年間目安エネルギー料金とは、年間の目安電気料金、目安ガス料金又は目安灯油料金のことを指します。

ラベルの管理番号。最新のラベルを確認するためのもの。多段階評価点や年間目安エネルギー料金の算出方法が見直された際に管理番号を更新して最新の算出方法に基づくラベルかどうか確認できるようにするもの。最新のラベルの管理番号は「省エネ型製品情報サイト」で確認できる。

※テレビ、温水機器の新旧ラベルの移行期間は2023年3月31日迄です。
※エアコンの新旧ラベルの移行期間は2023年9月30日迄です。

3-4. エアコンの統一省エネラベル

エアコンの統一省エネラベルには、**「年間目安エネルギー料金」の算出方法に関する注意書き**がついている。
ラベルに表示されている年間目安エネルギー料金は、**東京の外気温度をモデル**としている。外気温度を考慮した**地域係数を掛けると、地域ごとの年間目安エネルギー料金を算出することができる。**

積雪、低温による故障を防止するように設計等された**寒冷地仕様エアコンに表示するラベル**がある。

エアコンの例



エアコン（寒冷地仕様）の例



【年間目安エネルギー料金の算出条件】

- ・ 外気温度：東京モデル
- ・ 室内設定温度：冷房時27℃／暖房時20℃
- ・ 期間：冷房期間5月23日～10月4日
暖房期間11月8日～4月16日
- ・ 使用時間：6:00～24:00（18時間）
- ・ 住宅：平均的な木造住宅（南向き）
- ・ 部屋の広さ（目安）：

冷房能力 (kW)	~2.2	2.5	2.8	~3.6	~4.5	5.0	5.6	6.3	7.1	8.0	9.0	10.0
畳数 (畳)	6	8	10	12	14	16	18	20	23	26	29	32

【地域係数※】 ※通年の地域補正係数を表示しています

主な地域	地域係数	主な地域	地域係数
東京	1.0	名古屋	1.2
札幌	3.1	大阪	1.1
盛岡	2.4	米子	1.3
秋田	2.0	広島	1.1
仙台	1.6	高松	1.1
新潟	1.5	高知	1.0
前橋	1.3	福岡	1.0
松本	2.1	熊本	1.1
富山	1.4	鹿児島	0.9
静岡	0.9	那覇	0.6

● **注意書き** 「年間目安エネルギー料金」の算出方法の注意書き。

3-5. 温水機器の統一省エネラベル

温水機器（電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）、ガス温水機器、石油温水機器）の統一省エネラベルには、ラベル表示内容の**前提条件に関する注意書き**と、前提条件を変更した試算ができる**QRコード**がついている。

電気温水機器の例

ガス温水機器（都市ガス）の例

石油温水機器の例



- **QRコード**
QRコードから、地域及び世帯人数に応じた多段階評価点及び年間目安エネルギー料金を試算できるウェブページ（換算アプリ）へアクセスできる。
インターネット販売の場合は、換算アプリのURLをラベルに併せて表示する。

- **注意書き**
「年間目安エネルギー料金」の算出方法（エネルギー消費量と単価）等の注意書き。

QRコードがついている理由及び前提条件の詳細は第4章に説明されています！

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

3-6. 温水機器の統一省エネラベル：換算アプリの使い方

温水機器（電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）、ガス温水機器、石油温水機器）の統一省エネラベルには、**東京・大阪（寒冷地仕様は盛岡）の外気温度における4人世帯（少人数仕様は2人世帯）**の場合の多段階評価点と年間目安エネルギー料金が示されている。

使用する条件（地域や世帯人数等）がラベル記載の条件と異なる場合は、**QRコード※1からアクセスできるウェブページ（換算アプリ）にて条件を変更し、使用実態に合った多段階評価点と年間目安エネルギー料金を算出する。**

※1 QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

換算アプリの操作手順

手順1：ラベルのQRコードを読んで換算アプリを開く。エネルギーの種類（及び仕様）をラベルを見て選択。

エネルギー：電気
エネルギー：電気・寒冷地仕様
エネルギー：電気・少人数仕様
エネルギー：電気・寒冷地仕様・少人数仕様
エネルギー：都市ガス
エネルギー：液化石油ガス
エネルギー：灯油

手順2：ラベルを見て

- ★の点数（任意）
- エネルギー消費効率（必須）
- 年間目安エネルギー料金※2（必須）

を入力。

手順3：世帯人数と地域を選択。
郵便番号を入力するか、◀▶をクリックして地域の色を変えることで、地域を選択できる。

手順4：換算ボタンを押すと、世帯人数と地域に応じた★の点数と年間目安エネルギー料金が表示される。

※2 年間目安エネルギー料金は、年間の目安電気料金、目安ガス料金又は目安灯油料金のことを指します。

QRコード先の換算アプリ画面

省エネ型製品情報サイト 温水機器換算

エネルギー：電気 ▼

★の点数

エネルギー消費効率 ラベルを見て入力 必須

年間目安エネルギー料金 ラベルを見て入力 必須

エネルギー単価 円/kWh（変更可能）

世帯人数を選ぶ 2 3 4

◀▶をクリックして地域を選ぶ

または郵便番号から選ぶ

換算

換算した★の点数：
換算年間目安エネルギー料金：

2022年8月6日 12:50
XX社の型番

クリア メモ

省エネ性能

★★★★★ 4.6

省エネ基準達成率 100% 3.5

メーカー名 | 機種名

この製品を1年間使用した場合の目安電気料金

31,900 円

目安電気料金は東京・大阪の外気温度を前提に4人世帯を想定した1年間あたりの電気使用量約1,389kWhに東京・大阪で電気温水機器を使用する場合の平均的な電気料金単価23円/kWhを乗じて算出しており、外気温度や使用条件、電気会社等により異なります。
使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

使用する地域や世帯人数により★による点数及び目安電気料金は異なりますので、右記のQRコードからご確認ください。

エネルギー：電気

QRコード

EWHR0308

★の点数の入力は任意。

手順1でエネルギーの種類を選択すると、自動で既定の単価が表示される。変更可能※3。

【便利機能①】
1つの換算結果を記録したまま、他の温水機器の換算ができる。

【便利機能②】
メモを残すことができる。

※3 より実際に近い単価を入力すると、算出される年間目安エネルギー料金もより実際に近い金額になります。

3-7. 統一省エネラベルのミニラベル

表示スペースが限られている等統一省エネラベルの表示が困難な場合には、省エネ性能（★マークおよび多段階評価点）を表示した「ミニラベル」を使用することができる。

なお、温水機器には「ミニラベル」はありません。

ミニラベルの例



3-8. 簡易版ラベル

統一省エネラベルの対象ではない機器には、多段階評価点のない簡易版ラベルがある。

電球の例
省エネルギーラベルおよび
年間目安エネルギー料金を表示

ストーブの例
省エネルギーラベルを表示

省エネ性能



省エネ基準達成率

130%

エネルギー消費効率

128.5 lm/W

メーカー名

機種名

この製品を1年間（1日に5.5時間）使用した場合の目安電気料金

230 円

目安電気料金は使用条件や電力会社等により異なります。
使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

LTB-R0211

省エネ性能



省エネ基準達成率

100%

エネルギー消費効率

82.7 %

メーカー名

機種名

使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

SPH-R0211

3-9. 年間目安エネルギー料金のエネルギー単価

「年間目安エネルギー料金」の算出には、小売事業者表示制度用に定められたエネルギー単価が使用されている。

年間目安エネルギー料金のエネルギー単価

エネルギーの種類	電気 (電気温水機器以外)	電気 (電気温水機器)	都市ガス	液化石油ガス (LPガス)	灯油
単価	27 円/kWh	寒冷地仕様以外 23 円/kWh 寒冷地仕様 20 円/kWh	156 円/m ³	706 円/m ³	88 円/ℓ
出所	電力・ガス取引監視等委員会「電力取引報」を基に作成	みなし小売電気事業者アンケート等を基に作成	東京ガス及び大阪ガスの一般料金等を基に作成	環境省「家庭部門のCO ₂ 排出実態統計調査（家庭CO ₂ 統計）」の関東甲信及び近畿地域を基に作成	

電気温水機器は主に深夜電力を使用する契約となるため、他の機器の電力単価とは別に、電気温水機器の使用を想定している実際の契約プランの電力単価等を考慮した単価が定められている。

※都市ガス単価は、小売事業者表示制度の換算係数（46.05MJ/m³）を用いて体積に換算して算出
※液化石油ガス（LPガス）単価及び灯油単価は、家庭部門のCO₂排出実態統計調査の熱量（MJ）を小売事業者表示制度の換算係数（液化石油ガス：104.22MJ/m³、灯油：37.04MJ/L）を用いて体積に換算して算出

3-10. ラベルの入手方法

統一省エネラベル、ミニラベル、簡易版ラベルは、「省エネ型製品情報サイト」から入手できる。

省エネ型製品情報サイト：トップ画面

省エネ型製品情報サイト
統一省エネラベル等の印刷・製品の省エネ性能情報

HOME | ご利用ガイド | メーカーログイン | 省エネ性能カタログ電子版

すべてのカテゴリー ▼ 型番、製品名、メーカー名、JANコードなどを入力 製品検索

製品検索・ラベル作成

NEW エアコン	NEW 有機EL 液晶 テレビ	電気冷蔵庫	電気冷凍庫	LED 照明器具	電球
電気便座	ジャー炊飯器	電子レンジ	VTR	DVD DVD2008	DVD2010
NEW エコキュート	NEW ガス温水機器	NEW 石油温水機器			
ガスストーブ	石油ストーブ	ガスこんろ	ガスオーブン	小型ルーター	L2スイッチ

旧基準による製品検索 (ラベルは表示しません。)

目標年度 2010年 エアコン	目標年度 2012年 液晶テレビ	目標年度 2003年 ブラウン管テレビ	目標年度 2017年 エコキュート	目標年度 2008年/ 2006年 ガス温水機器	目標年度 2006年 石油温水機器
-----------------------	------------------------	---------------------------	-------------------------	-----------------------------------	-------------------------

<https://seihinjyoho.go.jp/>



詳しい使い方は第5章に説明されています！



4.新しい統一省エネレベルの解説

＜ねらい＞

- 多段階評価基準改正の背景を理解する。
- 新しい多段階評価基準を理解する。

4-1. 統一省エネラベルの3つの大きな見直し

2020年11月から運用が開始された新たな統一省エネラベルには、これまでの運用から確認された課題に対処するための3つの大きな見直しが行われている。

【改善効果】 省エネ性能の向上促進

見直し① 連続的な評価方式の採用

「5つ★から1つ★の5段階の評価方式」から「0.1刻みの41段階による連続的な評価方式」に変更。

【改善効果】 製品比較のしやすさ向上

見直し② 多段階評価基準の変更

「トップランナー制度における機器や区分ごとの基準達成率に基づいた評価基準」から「機器や区分が異なる場合でも比較できる各機器の省エネ性能そのものに基づいた評価基準」に変更。

【改善効果】 見易さ・表示し易さの向上

見直し③ デザインの簡素化と多様化

不要になった情報を削除し、デザインを簡素化。多様な表示場所に対応可能なミニラベルを新設。

4-2. 連続的な評価方式の採用【見直し①の背景と課題】

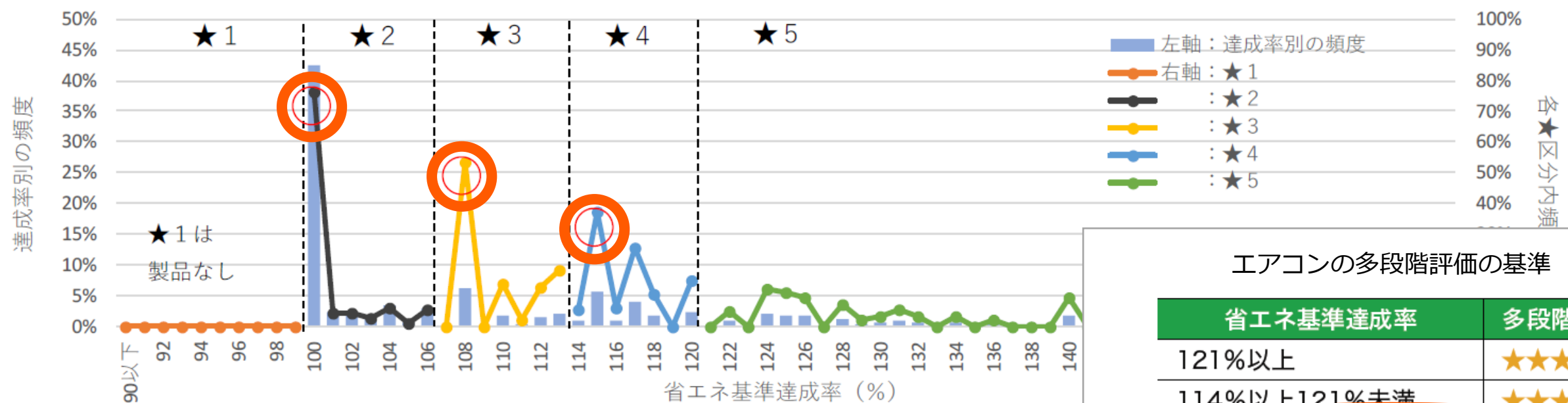
従来の多段階評価は、省エネ基準達成率に基づいた「5つ★から1つ★」の5段階で表されていた。一定の省エネ基準達成率の範囲に入る製品はすべて同じ★の評価が与えられる。

見直しの背景にある課題

5段階方式では、各段階の下限付近に製品が集積している。

5段階の多段階評価はメーカー等による製品開発に影響を与え、省エネ性能の向上を抑制している可能性があった。

製品分布の例（2016～2018年発売の冷房能力4kW以下のエアコン）



(出所) 資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ」を基に作成

説明：棒グラフは達成率別の頻度を表す。折れ線グラフは各★区分内頻度を表す。

エアコンの多段階評価の基準

省エネ基準達成率	多段階評価
121%以上	★★★★★
114%以上121%未満	★★★★★
107%以上114%未満	★★★★
100%以上107%未満	★★★
100%未満	★

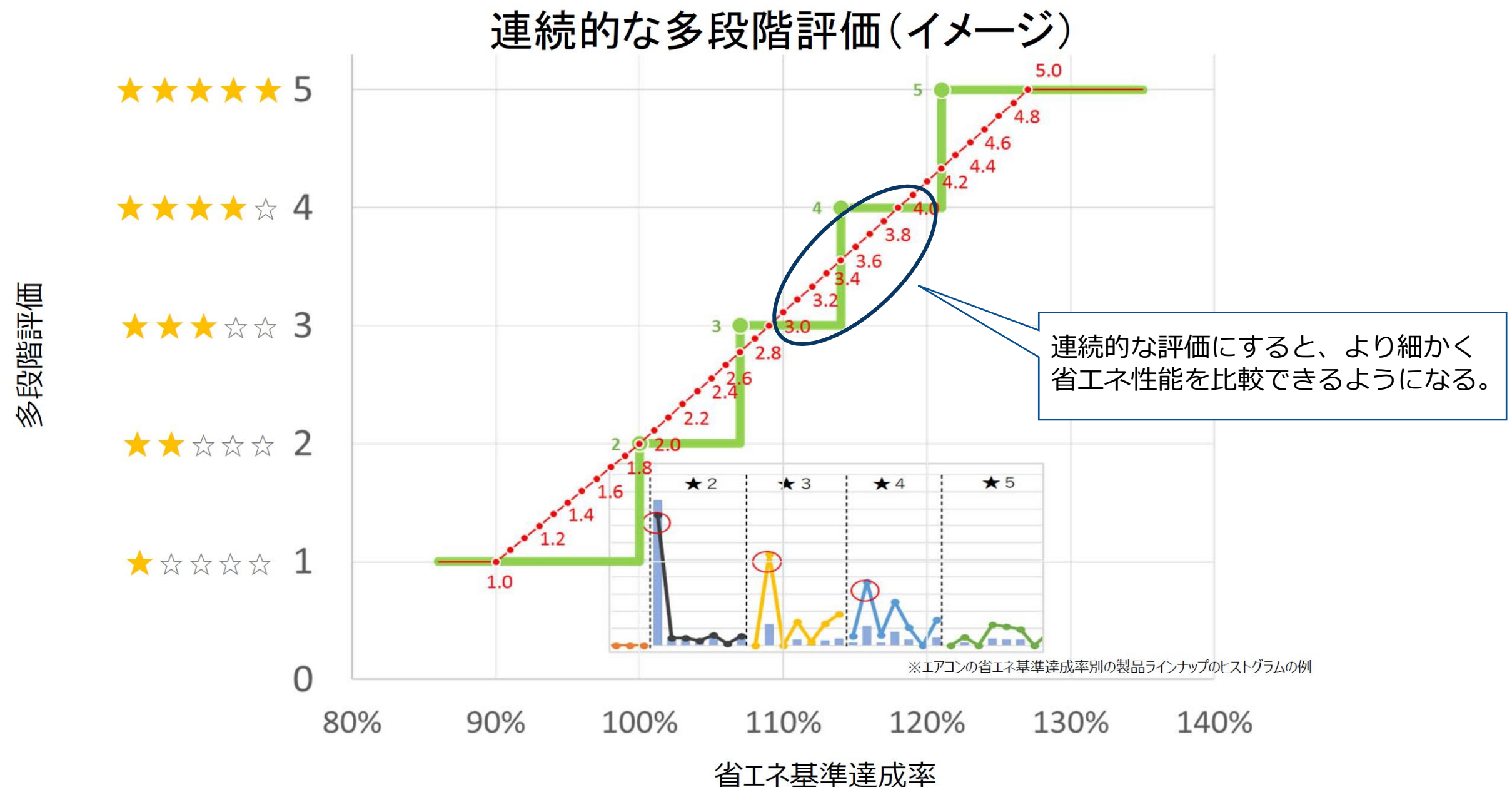
省エネ基準達成率が107%でも113%でも、3つ★の評価となる。

4-2. 連続的な評価方式の採用【課題解決の取組】

不連続な評価方式から連続的な評価に変更することにより、従来方式で同じ★の評価を受けていた製品間でも、省エネ性能の違いを示すことができるようになる。

改善効果

連続的な評価方式により、製品の集積が解消される。
省エネ性能を細かく表現することにより、省エネ性能向上の取組を後押しする。

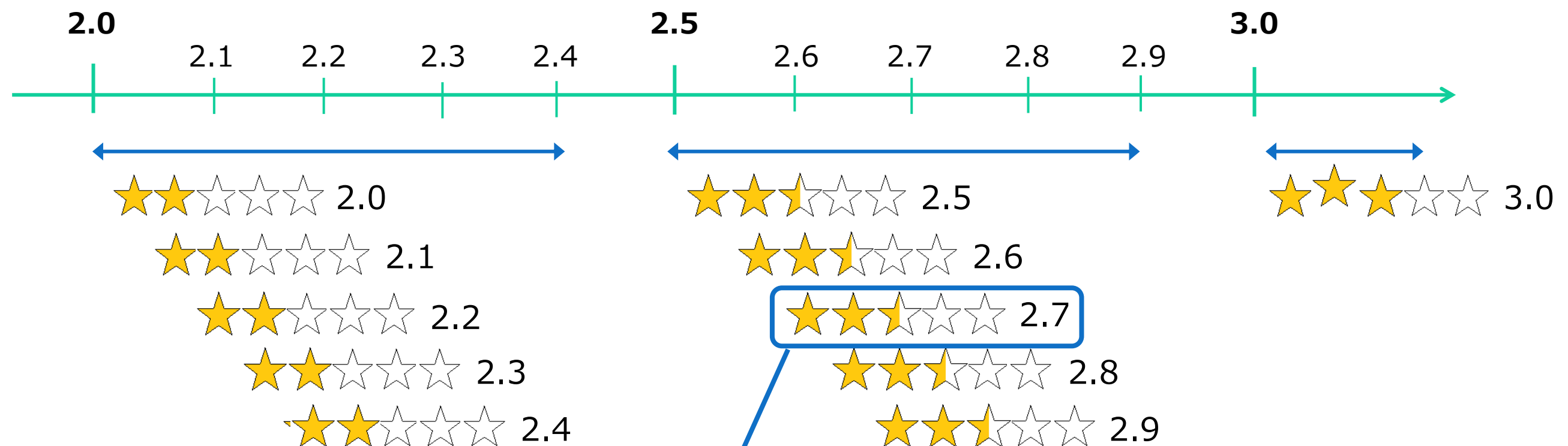


4-2. 連続的な評価方式の採用【課題解決の取組】

新たな評価方式では、**41段階（5.0から1.0まで）の多段階評価点**で表される。

★の表示は、多段階評価点に応じて半星を含めた9段階の表示となる。

＜多段階評価点＞



4-3. 多段階評価基準の変更【見直し②の背景と課題】

従来の多段階評価は省エネ基準達成率に基づいて評価されていた。省エネ基準は機器や機器内に設けられた区分ごとに定められているため、機器や区分により評価の設定が異なる。

見直しの背景にある課題

同じ機器でも区分が異なることで省エネ基準が異なり、結果として、★の評価と省エネ性能が逆転する場合があった。

その表示が消費者の省エネ性能が優れている製品の特選・選択を妨げている可能性があった。

冷蔵庫の例	
＜省エネ基準の指標と区分ごとの省エネ基準算定式＞	
省エネ性能*指標：年間消費電力量	
区分	省エネ基準算定式
自然対流式（区分a）	$0.735V_3 + 122$
強制循環式（ $V \leq 375$ ）（区分b）	$0.199V_3 + 265$
強制循環式（ $V > 375$ ）（区分c）	$0.281V_3 + 112$
V：定格内容積(ℓ)、V ₃ ：調整内容積(ℓ)	
調整内容積（定格内容積）	
省エネ基準達成率	
多段階評価	
年間消費電力量	
年間目安電気料金	

例1（区分a）	例2（区分b）	例3（区分c）
		
357ℓ(293ℓ)	402ℓ(365ℓ)	465ℓ(401ℓ)
108%	100%	77%
★★★★★	★★★★★	★★★
356 kWh	345 kWh	315 kWh
9,610円	9,320円	8,510円

*トップランナー制度における「エネルギー消費効率」のこと

例3は、3つ星であり、省エネ基準達成率も低い。
しかし、例1や例2と比べて年間消費電力量(および電気料金)は小さく、省エネ性能が優れている。

4-3. 多段階評価基準の変更【課題解決の取組】

多段階評価を「省エネ基準達成率に対する評価」から
「エネルギー消費効率（年間消費電力量等）そのものの評価」に変更した。

改善効果

省エネ性能*と★の評価が直接関連づくため、機器や区分が異なる場合でも製品の省エネ性能を比較できるようになる。



多段階評価点の算出には、
下記の式で算出される多段階評価比率が用いられる。

多段階評価比率（小数点以下第1位切り捨て）

$$= \frac{\text{製品の省エネ性能*}}{\text{出荷数量が多い機器の区分の省エネ基準値}} \times 100$$

従来は、分母が区分によって異なっていたため、区分が異なる製品の比較はできなかったが、分母を「出荷数量の多い機器の区分の省エネ基準値」に統一することにより、区分が異なっても省エネ性能の比較が可能となる。

製品の省エネ性能*がエネルギー使用量（例：年間消費電力量）の場合には、割り算部分を逆数とする。

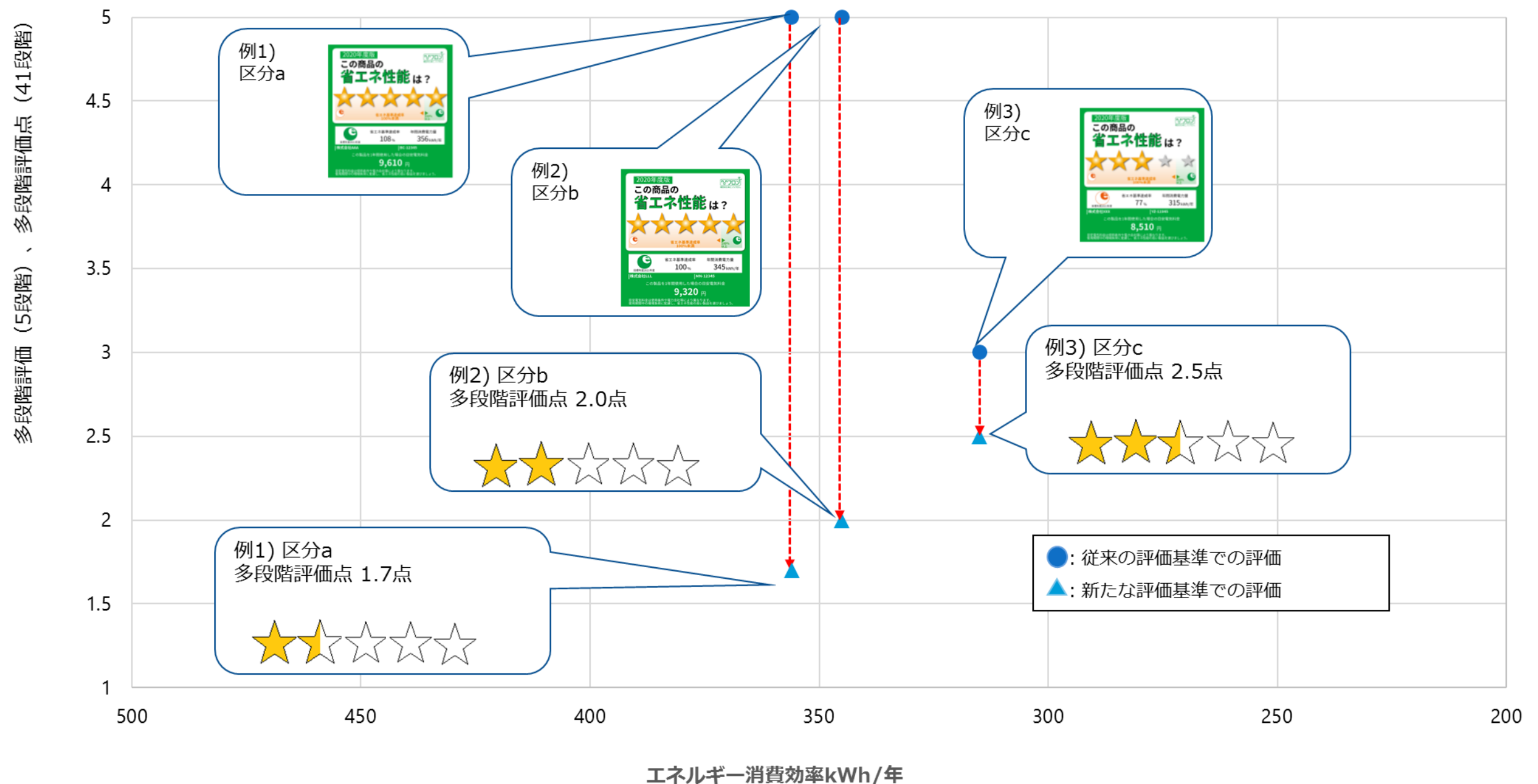
*トップランナー制度における「エネルギー消費効率」のこと。

4-3. 多段階評価基準の変更【課題解決の取組】

冷蔵庫の例1) 例2) 例3) を、新たな評価基準である「多段階評価比率を用いた多段階評価点」で表すと、省エネ性能*が優れている順に評価点が並び、★の数との矛盾も解消され、省エネ性能が優れている製品を特定することができる。

*トップランナー制度における「エネルギー消費効率」のこと。

冷蔵庫の新旧多段階評価基準による分布比較



4-3. 多段階評価基準の変更【課題解決の取組：温水機器】

温水機器に特化した取組 1

電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）、ガス温水機器、石油温水機器を**エネルギー種別を問わず横断的に比較**できるようにするため、**統一的に一次エネルギー効率で評価**することとした。

電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）のエネルギー消費効率は、ガス・石油温水機器と異なり一次エネルギー効率ではないため、電気を熱量に換算する係数を用いて換算した一次エネルギー効率を使用する。

温水機器に特化した取組 2

使用する地域の外気温度や世帯人数の違いによる影響を考慮し、**地域及び世帯人数に応じて一次エネルギー効率を換算し、その換算値に基づいた多段階評価点と年間目安エネルギー料金を算出**できるようにした。

統一省エネラベルには、**東京・大阪（寒冷地仕様は盛岡）の外気温度における4人世帯（少人数仕様は2人世帯）**の場合の多段階評価点と年間目安エネルギー料金を表示し、その他の地域や世帯人数の場合にも活用できるよう、**地域や世帯人数等を変更して試算できる換算アプリにアクセスするためのQRコード**が付けられた。

目安電気料金は**盛岡の外気温度**を前提に**2人世帯**を想定した1年間あたりの電気使用量約1,293kWhに盛岡で電気温水機器を使用する場合の平均的な電気料金単価**20円/kWh**を乗じて算出しており、外気温度や使用条件、電気会社等により異なります。
使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

ラベルに表示されている多段階評価点及び年間目安エネルギー料金の前提条件（使用地域・世帯人数・エネルギー単価）が説明されている。

エネルギーの種類、寒冷地仕様、少人数仕様の情報はここに表示される。

省エネ性能

★★★★☆ 3.5

 省エネ基準達成率 100% エネルギー消費効率 2.7

目標年度2025年度

メーカー名 | 機種名

この製品を1年間使用した場合の目安電気料金

25,900 円

目安電気料金は**盛岡の外気温度**を前提に**2人世帯**を想定した1年間あたりの電気使用量約1,293kWhに盛岡で電気温水機器を使用する場合の平均的な電気料金単価**20円/kWh**を乗じて算出しており、外気温度や使用条件、電気会社等により異なります。
使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

使用する地域や世帯人数により★による点数及び目安電気料金は異なりますので、右記のQRコードからご確認ください。

エネルギー：電気・寒冷地仕様・少人数仕様



EWH-R0308

寒冷地・少人数仕様の電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）の例

換算アプリにアクセスするためのQRコード

換算アプリの使い方は第3章に説明されています！

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

4-4. デザインの簡素化と多様化【見直し③の背景と課題】

統一省エネラベルは、製品の省エネ性能を様々な視点から比較検討できるように、情報が充実しており、ラベルの内容が見やすい大きさを表示されることが想定されたデザインとなっている。

見直しの背景にある課題

スペースが限られている売り場やインターネット通販サイト等、見やすい大きさでのラベル表示が難しい場合があり、ラベル表示の取組を妨げているのではないか。



4-4. デザインの簡素化と多様化【課題解決の取組】

表示内容を精査して、統一省エネラベルでの表示が不要と思われる情報を削除し、グラデーションを止め、よりはっきりとしたデザインに変更した。

改善効果

省エネ性能をより分かりやすく示すことができる。
淡い色調の表示を止めることで、視認性が高まる。

ラベルの情報に更新がなくても年度が替わった際にラベルを貼り替える必要があり、小売事業者等の手間となっていたため削除。新デザインでは右下に管理番号が表示され、最新のラベルかどうか確認できるようになっている。最新のラベルの管理番号は、「省エネ型製品情報サイト」で確認できる。

なくてもわかる文字を削除し、はっきりした★の表示に変更。

新たな多段階評価基準では、星の数と省エネ基準達成率の関連がなくなるため削除。

冷蔵庫の場合、現在ではほぼすべての製品がノンフロンのため削除。



従来の統一省エネラベルの例



新たな統一省エネラベルの例

4-4. デザインの簡素化と多様化【課題解決の取組】

製品の省エネ性能を比較するために消費者が重視している「多段階評価点」を表示する
ミニラベルを新設した。

改善効果

表示スペースが限られている場所にも表示できる。
画像容量や文字情報も少ないため、製品サイズやネット取引等にも対応可能。

新たな統一省エネラベルの例



ミニラベルの例



※温水機器のミニラベルはありません。
地域及び世帯人数に応じた多段階評価点や年間目安エネルギー料金に関する情報を提供できないため。



5. 省エネ型機器の販売を促進する 支援ツール

- 「省エネ型製品情報サイト」
- 「しんきゅうさん」

<ねらい>

- 「省エネ型製品情報サイト」や「しんきゅうさん」の利用方法を理解する。

5-1. 2つの支援ツール

小売事業者表示制度に基づくラベルの表示や省エネ型機器の販売促進を支援するツールとして、経済産業省と環境省が協力し2つのウェブサイトを経営している。

「省エネ型製品情報サイト」

<http://seihinjyouho.go.jp/>

どのようなときに利用する？

- ・製品情報検索
- ・統一省エネラベル等の印刷、ラベルデータ入手



省エネ型製品情報サイト
統一省エネラベル等の印刷・製品の省エネ性能情報

HOME | ご利用ガイド | メーカーログイン | 省エネ性能カタログ電子版

すべてのカテゴリー ▾ 型番、製品名、メーカー名、JANコードなどを入力 製品検索

製品検索・ラベル作成

NEW エアコン	NEW 有機EL テレビ	電気冷蔵庫	電気冷凍庫	LED 照明器具	電球
電気便座	ジャー炊飯器	電子レンジ	VTR	DVD DVD2008	DVD2010
NEW エコキュート	NEW ガス温水機器	NEW 石油温水機器			
ガスストーブ	石油ストーブ	ガスこたろ	ガスオーブン	小型ルーター	L2スイッチ

旧基準による製品検索 (ラベルは表示しません。)

目標年度 2010年 ★★★★★ エアコン	目標年度 2012年 ★★★★★ 液晶テレビ	目標年度 2003年 ★★★★★ ブラウン管テレビ	目標年度 2017年 ★★★★★ エコキュート	目標年度 2008年/ 2006年 ★★★★★ ガス温水機器	目標年度 2006年 ★★★★★ 石油温水機器
--------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	--	----------------------------------

販売店・消費者向け

省エネ性能カタログ
電子版・PDF版

2022年
省エネラベルガイドブック
PDFダウンロード

エアコンの
上手な
使い方

温水機器
換算アプリ
地域・世帯人数で
省エネ比較
換算アプリ説明書

省エネの新時代が
始まっています。
資源エネルギー庁のサイトへ

「しんきゅうさん」

<https://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/>

どのようなときに利用する？

- ・新旧製品比較
- ・買換え試算
- ・省エネ製品ランキング



かんたん比較

省エネランキング

くわしく比較 まとめて比較

かんたん比較

省エネランキング

くわしく比較 まとめて比較

かんたん比較

省エネランキング

くわしく比較 まとめて比較

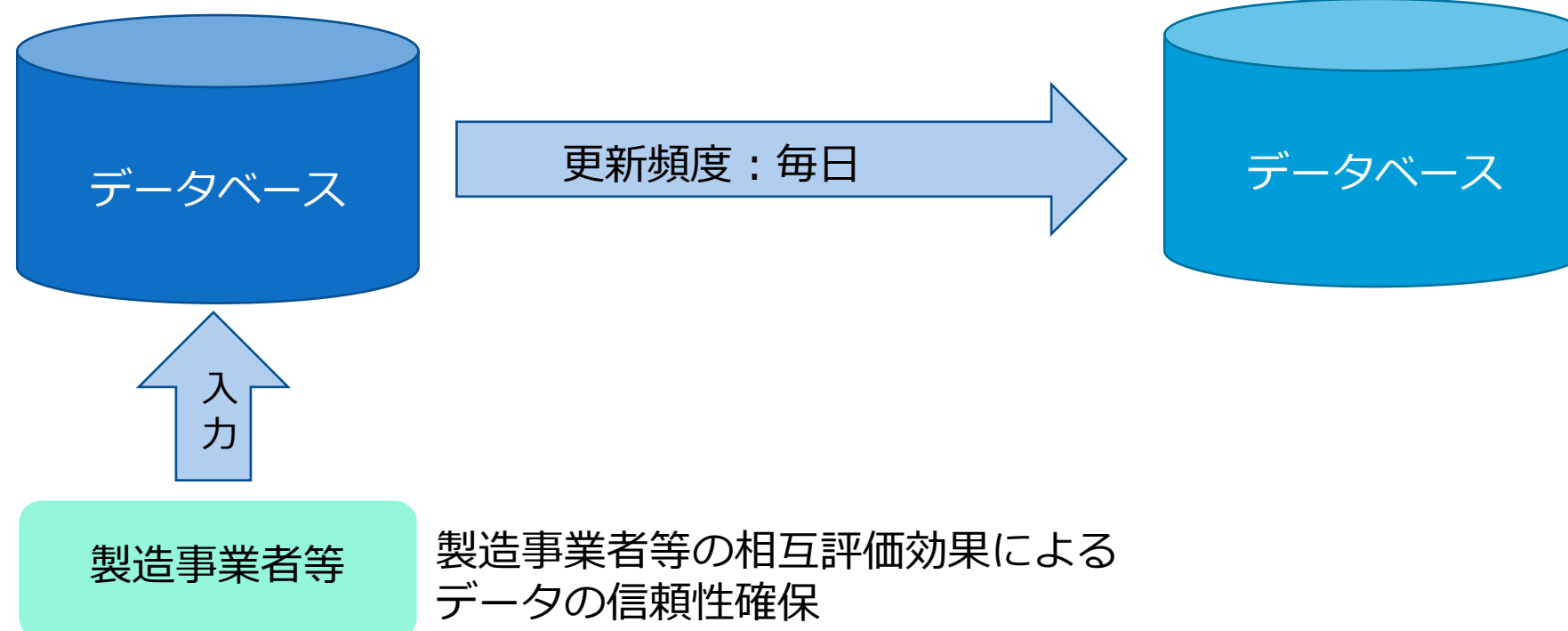
5-2. 2つの支援ツールと製品データ

「省エネ型製品情報サイト」の製品データは、製造事業者等が自社製品のデータを随時登録している。
「省エネ型製品情報サイト」に登録された製品データは、毎日「しんきゅうさん」に提供されている。

＜省エネ型製品情報サイト＞



＜しんきゅうさん＞



5-3. 「省エネ型製品情報サイト」の使い方

最も標準的な使い方である「製品検索」から「統一省エネラベルの入手」までを3つのステップで紹介する。

ステップ1 トップページで、ラベルを入手したい製品を選択する。



スマートフォンにも対応

出所：「省エネ型製品情報サイト」（資源エネルギー庁）（<http://seihinjyoho.go.jp/>） 2022年10月20日に利用

5-3. 「省エネ型製品情報サイト」の使い方

ステップ2 印刷したい機種にチェックを入れ、ラベルのサイズを選択する。

省エネ型製品情報サイト
統一省エネラベル等の印刷・製品の省エネ性能情報

HOME | ご利用ガイド | メーカーログイン | 省エネ性能カタログ電子版

電気冷蔵庫

製品検索

絞り込み検索

型番やJANコード
でも検索可能

②
ラベル印刷サイズ
をクリック

冷蔵庫 目標年度2021

選択した製品だけを比較表示する 選択をクリア



ミニラベルダウンロード

クリックした項目に
よる並べ替えも可能

①
印刷したい
機種にチェック

	メーカー または ブランド	製品愛称	機種名 (型番)	多段階評価点	省エネ性 マーク	省エネラベリング制度				冷却方式	定格内容積				機能		
						省エネ 達成率 (%)	年間 消費 電力量 (kWh/年)	年間 目安 電気代 (円/年)			合計 (L)	冷蔵室 (L)	野菜室 (L)	冷凍室 (L)	上 ア イ ス	自 動 製 氷	観 音 開 き
☐	A社	New	A-BCD-123	★★★★☆ 2.4	●e	110	295	7,970	間冷式		230	157	0	71	2	-	-
☐	B社	New	B-CDE-123	★★★☆☆ 1.5	●e	100	304	8,210	間冷式		154	112	0	42	2	-	-
☐	C社	C社 ○○冷蔵庫	C-CDE-234	★★★★☆ 2.0	●e	100	265	7,160	直冷式		140	87	0	53	2	-	-
☐	B社	New	B-CDE-345	★★★★☆ 2.0	●e	100	339	9,150	間冷式		274	174	0	100	2	-	-
☐	D社	○○冷蔵庫	D-DEF-123	★★★★☆ 2.6	●e	131	232	6,260	間冷式		148	94	0	54	2	-	-
☐	D社	○○冷蔵庫	D-DEF-234	★★★★☆ 2.6	●e	125	248	6,700	間冷式		173	119	0	54	2	-	-
☐	C社	○○冷蔵庫	C-DEF-345	★★★★☆ 2.0	●e	100	355	9,590	間冷式		320	191	0	129	2	-	-
☐	A社	New	A-CDE-456	★★★★☆ 2.0	●e	100	336	9,070	間冷式		319	181	71	67	3	○	○
☐	E社	E社 ○○冷蔵庫	E-CDE-567	★★★★☆ 4.3	●e	157	96	2,590	直冷式		40	40	0	0	1	-	-
☐	A社		A-EFG-123	★★★★☆ 2.5	●e	113	288	7,780	間冷式		250	198	0	52	2	-	-
☐	A社		A-EFG-234	★★★★☆ 2.0	●e	100	330	8,910	間冷式		282	146	68	68	3	-	○
☐	A社	Update	A-EFG-345	★★★★☆ 2.0	●e	100	346	9,340	間冷式		360	197	86	77	3	○	○
☐	A社		A-EFG-456	★★★★☆ 2.0	●e	100	329	8,880	間冷式		283	145	71	67	3	○	○
☐	F社		F-EFG-567	★★★☆☆ 1.0	○e	34	400	10,800	直冷式		23	23	0	0	1	-	-
☐	G社	G社 ○○冷蔵庫	G-EFG-678...	★★★★☆ 2.0	●e	101	202	5,450	直冷式		87	61	0	26	2	-	-
☐	H社	H社 ○○冷蔵庫	H-EFG-789...	★★★★☆ 4.0	●e	234	120	3,240	間冷式		80	80	0	0	1	-	-

5-3. 「省エネ型製品情報サイト」の使い方

ステップ3 ラベルを印刷するか、画像データで入手するかを選択する。



ラベルを印刷したい場合には「ラベルプリント」、
画像データとして保存した場合には「PNG保存」をクリックする

5-4. その他のラベル入手方法（個別ラベル）

標準的な手順の他にも、ラベルを入手する方法がある。

個別ラベル

「個別ラベル作成」機能を利用し、ラベルに記載する情報を入力し、ラベルを作成することができる。プライベートブランドのラベルの作成も可能。

トップページの下方にある
「個別ラベル作成」をクリック



ラベルサイズ・製品選択画面

The image shows a form titled '統一省エネラベル個別作成' (Unified Energy-Saving Label Individual Creation). It has fields for 'サイズを選択してください' (Please select a size) with a dropdown menu showing 'Lサイズ(大)', '枚数を指定して下さい' (Please specify the number of sheets) with a dropdown menu showing '1枚', and '製品を選択して下さい' (Please select a product) with a dropdown menu showing '電気冷蔵庫'. There is a 'データ入力フォームへ' (To Data Entry Form) button at the bottom.

ラベル記載情報入力画面

The image shows a form titled '統一省エネラベル個別作成' (Unified Energy-Saving Label Individual Creation). It has fields for '値を入力して下さい' (Please enter the value) with a dropdown menu showing 'Lサイズ', '製品:電気冷蔵庫', '多段階評価点(半角数字)' (Multi-stage evaluation point (half-width number)) with a text input field, '省エネ基準達成率(半角数字)' (Energy-saving standard achievement rate (half-width number)) with a text input field, '年間消費電力量(半角数字)' (Annual electricity consumption (half-width number)) with a text input field, 'メーカー名' (Manufacturer name) with a text input field, '機種名' (Model name) with a text input field, and 'この製品を1年間使用した場合の目安電気料金(半角数字)' (Estimated electricity bill when using this product for 1 year (half-width number)) with a text input field. There are '戻る' (Back) and 'この値でラベルを表示' (Display label with this value) buttons at the bottom.

ラベル印刷・ダウンロード画面



5-4. その他のラベル入手方法（AI形式ラベル、ミニラベル）

省エネ型製品情報サイトからは、AI形式のラベルやミニラベルを入手することができる。

AI形式ラベル・ミニラベル 「ミニラベルダウンロード」 から、AI形式ラベル、ミニラベルをダウンロードする。

ミニラベルのページ



ここをクリックすると、ミニラベルのダウンロードページに移動



3種類のミニラベルを、印刷(PDF)、AI形式、PNG形式で入手することができる。

5-5. その他の機能

ラベルの入手の他にも、便利な機能がある。

データダウンロード

登録されているデータをcsv形式で一括でダウンロードすることができる。

データを手りたい製品を選択し、
[CSV出力]ボタンをクリックする

csvデータファイル

トップページの下方にある
「登録データ一括ダウンロード」
をクリック

CSV出力

電気冷蔵庫2021_20211112.csv															
検索 (Alt+Q)															
メーカーまたはブランド															
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	メーカー	代表機種	JANコード	製品名称	機種名(型)	多段階評価	省エネ性	省エネラベ	省エネラベ	省エネラベ	省エネラベ	年間電気消費量	冷却方式	省エネ法区	定格内容
2	A社	代表機種	4.55E+12	R-KWC50	3.1 ●e	2021	100	315	8,510	間冷式	c	498	271		
3	A社	派生機種	4.55E+12	R-KWC50	3.1 ●e	2021	100	315	8,510	間冷式	c	498	271		
4	A社	代表機種	4.55E+12	R-KWC57	3 ●e	2021	100	343	9,260	間冷式	c	567	308		
5	A社	派生機種	4.55E+12	R-KWC57	3 ●e	2021	100	343	9,260	間冷式	c	567	308		
6	A社	代表機種	4.97E+12	ブラズマクSJ-GW35H	2 ●e	2021	102	340	9,180	間冷式	b	350	183	68	
7	B社	派生機種	4.97E+12	SJ-GW35H	2 ●e	2021	102	340	9,180	間冷式	b	350	183	68	
8	B社	代表機種	4.97E+12	SJ-D15H-	1.8 ●e	2021	105	290	7,830	間冷式	b	152	94		
9	B社	派生機種	4.97E+12	SJ-D15H-	1.8 ●e	2021	105	290	7,830	間冷式	b	152	94		
10	B社	代表機種	4.97E+12	ブラズマクSJ-GD15H	1.8 ●e	2021	105	290	7,830	間冷式	b	152	94		
11	B社	派生機種	4.97E+12	ブラズマクSJ-GD15H	1.8 ●e	2021	105	290	7,830	間冷式	b	152	94		
12	B社	代表機種	4.97E+12	ブラズマクSJ-PD28H	2.1 ●e	2021	104	333	8,990	間冷式	b	280	155		
13	B社	派生機種	4.97E+12	ブラズマクSJ-PD28H	2.1 ●e	2021	104	333	8,990	間冷式	b	280	155		
14	B社	代表機種	4.97E+12	ブラズマクSJ-PD31H	2.2 ●e	2021	105	336	9,070	間冷式	b	310	185		
15	B社	派生機種	4.97E+12	ブラズマクSJ-PD31H	2.2 ●e	2021	105	336	9,070	間冷式	b	310	185		
16	B社	代表機種	4.97E+12	SJ-D18H-	1.8 ●e	2021	100	310	8,370	間冷式	b	179	121		

5-6. 「しんきゅうさん」の使い方

最も一般的な使い方である「かんたん比較」による買換え試算を3つのステップで紹介する。

ステップ1 「さっそく比較してみる！」をクリックし、比較メニュー画面を開き、「かんたん比較」をクリックする。

[トップページ]



[比較メニュー画面]

カタログ値での試算



[製品選択画面]

ステップ2

比較したい製品を選択する。

※比較できる製品等の詳細は「しんきゅうさん」で確認してください。

5-6. 「しんきゅうさん」の使い方

ステップ3 「買換え前」と「買換え予定」の製品情報を入力する。

買換え前（現在使用している）の製品の情報を入力する

かんたん比較

冷蔵庫編

今お使いの製品

型番検索

① 購入年 (※必須)
選択してください

② 定格内容積 (※必須)
選択してください

③ メーカー
選択してください

④ 型番
選択してください

最新の省エネ製品との
買い換え比較が簡単にできるよ
購入年を入力してね

◆経済産業省資源エネルギー庁の「省エネ型製品情報サイト」に登録されている製品を基本とし、一部の国内製造事業者の製品及び一部の海外製造事業者の輸入製品は、機種名（型番）リストに含まれていません。ご了承くださいませ。ようお買い求めください。
◆2014年以降の型番の製品は、必ず型番を入力してください。

もっと見る

戻る 比較する 次へ

かんたん比較TOPへ

他の製品を選択

その他の比較をする

製品の
・購入年
・サイズ等
・メーカー
・型番

「メーカー」「型番」は「わからない」を選ぶと製品
平均値で試算できる

買換え予定の製品の情報を入力する

かんたん比較

冷蔵庫編

ご購入予定の製品

① 定格内容積 (※必須)
選択してください

② メーカー (※必須)
選択してください

③ 型番 (※必須)
選択してください

最新の省エネ製品との
買い換え比較が簡単にできるよ
定格内容積を入力してね

◆経済産業省資源エネルギー庁の「省エネ型製品情報サイト」に登録されている製品を基本とし、一部の国内製造事業者の製品及び一部の海外製造事業者の輸入製品は、機種名（型番）リストに含まれていません。ご了承くださいませ。ようお買い求めください。
◆ご購入予定の製品は、必ず型番を入力してください。

もっと見る

戻る 比較する 次へ

かんたん比較TOPへ

他の製品を選択

その他の比較をする

製品の
・サイズ等
・メーカー
・型番

「ご購入する型番がお分かりにならない方」を選ぶと
製品の一覧が表示され、そこから選択できる

5-6. 「しんきゅうさん」の使い方

試算結果(冷蔵庫の例)



5-7. 支援ツールの活用方法

製品比較に！



10年前の冷蔵庫を買換えると

**電気代が
年間〇〇円お得に！**

(“しんきゅうさん”「かんたん比較」による試算)



買換えの勧めに！

今使っている
エアコンは
〇〇年に
買いました。



最新のエアコンに
買換えると年間〇〇円
電気代が減ります。
快適性も上がりますよ。

買換えると
いくらお得？



統一省エネラベルの紹介に！



このラベルを
チェック！

値が大きいほど省
エネ製品！



商品販促の検討に！

夏の省エネ家電
キャンペーン
企画・・・





6 .応用編：Q&A、説明用の例題

<ねらい>

- 統一省エネラベルの説明力を高めるスキルを習得する。

6-1. Q&A（多段階評価①）

冷蔵庫の例



Q1：省エネ性能の表示のところに、★マークと数字が書いてあります。どのような意味ですか？

A1：
その製品の省エネ性能が市場にある製品の中でどこに位置しているか（相対評価）を表しています。
数字（左のラベルでは「2.7」）は、製品の省エネ性能を表わす点数（評価点）です。省エネ性能が優れている順に5.0～1.0までの0.1刻みの41段階で表示しています。
この点数に応じて、5つ★から1つ★までの半星を含めた星を表示しています。

Q2：どのようにして点数（評価点）をつけるのですか？

A2：
市場にある製品の省エネ性能を基にして、なるべく多くの製品を相対評価できるような基準を設けています。その基準に従って、その製品の省エネ性能のレベルを点数（評価点）で示しています。

Q3：数字（評価点）と★の数の関係は？

A3：
数字(評価点)の小数点以下1桁が0～4→数字の整数部分の★の数
数字(評価点)の小数点以下1桁が5～9→数字の数部分の★の数に半星を追加

左のラベルの場合、数字（2.7）の小数点以下1桁は「7」ですので、2つ半★になります。たとえば、数字が「2.3」の場合は2つ★になります。

※QA1：4-2.連続的な評価方法の採用【課題解決の取組】 参照
※QA3：4-2.連続的な評価方法の採用【課題解決の取組】 参照

6-1. Q&A（多段階評価②）

冷蔵庫の例



Q4：旧ラベルでは4つ★の製品が新ラベルでは3.2点（3つ★）になっているのはどうしてですか？

A4：

旧ラベルにおける評価（★の数）は、省エネ基準の達成率を基に相対評価をしていました。

省エネ基準は、製品の種類やサイズ等で分類した区分ごとに定められています。

新たなラベルにおける評価（★の数や評価点）は、区分ごとではなく、製品全体で相対評価をしています。

そのため、旧ラベルと新ラベルにおける評価（★の数）が異なる製品があります。

Q5：なぜ★マークと数字（評価点）の両方が書いてあるのですか？

A5：

★の数が同じ製品の省エネ性能も、容易に比較できるようにするためです。たとえば、2つ半★の製品の中で、数字（評価点）が2.5の製品よりも、2.7の製品の方が省エネ性能が優れていることを示します。

Q6：照明器具には蛍光灯とLEDがありますが、どのように評価しているのですか？

A6：

蛍光灯器具とLED電灯器具を、同じ評価基準で評価しています。

6-1. Q&A（多段階評価③）

テレビの例



温水機器の例



Q7：液晶テレビと有機ELテレビがありますが、省エネ性能を比べることはできますか？

A7：
液晶テレビと有機ELテレビは同じ評価基準で評価されているので、比べることができます。

Q8：温水機器にはヒートポンプ給湯機、ガス温水機器、石油温水機器がありますが、省エネ性能を比べることはできますか。

A8：
電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）、ガス温水機器、石油温水機器は、同じ評価基準（一次エネルギー効率）で評価しているので、比べることができます。ただし、ラベルに記載されている地域・世帯人数と異なる条件で使用する場合にはA9をご参照ください。

Q9：温水機器のラベルに、「東京・大阪の外気温度で4人世帯の場合」という説明がありますが、自分の居住地域や世帯人数とは一致しないときはどうしたらよいですか。

A9：
ラベルにあるQRコードから「換算アプリ」にアクセスすると、地域や世帯人数を変更した場合の★の点数に換算することができます。

※QA7：4-3. 多段階評価基準の変更【見直し②の背景と課題】 参照
4-3. 多段階評価基準の変更【課題解決の取組】 参照

※QA8：4-3. 多段階評価基準の変更【課題解決の取組：温水機器】 参照

※QA9：3-6. 温水機器の統一省エネラベル：換算アプリの使い方 参照

6-1. Q&A（省エネルギーラベル①）

冷蔵庫の例



Q1：★マークの下に書かれている「e」のマークや数字は何ですか？

A1：

これらをまとめて「省エネルギーラベル」といいます。法律（省エネ法）で定める省エネ基準をどの程度達成しているかを示すラベルです。

Q2：「省エネルギーラベル」と省エネ性能（★マークや右側の点数）の違いは何ですか？

A2：

「省エネルギーラベル」は、製品個々の省エネ性能を示しています。「省エネ性能（★の数や右側の点数）」は、その製品の省エネ性能を、市販されている製品の中で相対的に評価したもので、ほかの製品と比べた省エネ性能が容易にわかります。

※QA1：2-6.省エネルギーラベリング制度の概要 参照

※QA2：2-6.省エネルギーラベリング制度の概要、
4-2.継続的な評価方法の採用【課題解決への取組】 参照

6-1. Q&A（省エネルギーラベル②）

冷蔵庫の例



Q3：「e」のマークの意味は？

A3：

省エネ基準を達成しているかどうかを示します。

緑色（）なら達成を、オレンジ色（）なら未達成を示しています。

省エネ基準は、製品の種類や容量等によって分類した区分ごとに設定されています。

Q4：「目標年度」とは何ですか？

A4：

省エネ基準を達成しなければならない年度です。機器や、サイズ・種類等の区分ごとに決められています。

目標年度が到来した機器は、必要に応じて省エネ基準が見直されます。

Q5：「省エネ基準達成率」とは何ですか？ どのように算出していますか？

A5：

省エネ基準をどの程度達成しているかを「%」で示しています。

たとえば、電気便座のある製品（温水洗浄便座 貯湯式）の年間消費電力量が156kWhだったとします。

「温水洗浄便座 貯湯式」の省エネ基準は183kWh/年ですので、この製品の省エネ基準達成率は117%（ $183 \div 156 \times 100$ （小数点以下切捨））です。

※QA3：2-6.省エネルギーラベリング制度 概要 参照
※QA4：2-6.省エネルギーラベリング制度 概要 参照
※QA5：2-6.省エネルギーラベリング制度 概要 参照

6-1. Q&A（省エネルギーラベル③）

冷蔵庫の例



Q 6：エアコンの省エネルギーラベルに書かれている「APF」とは何ですか？

A 6：

APF（通年エネルギー消費効率）はエアコンの効率を表すものです。年間を通して一定の条件のもとでエアコンを使用したときに、1年間に必要な冷暖房能力を、1年間でエアコンが消費する電力量で割った値です。値が大きいほど省エネ性能が優れていることを示します。

Q 7：照明器具の省エネルギーラベルに書かれている「○○lm/W」とは何ですか？

A 7：

1 W（ワット）当たりの光の量（光束、単位：lm（ルーメン））を表します。値が大きいほど省エネ性能が優れていることを示します。

Q 8：冷蔵庫で年間消費電力量が同じなのに、省エネ基準達成率が異なる製品があるのは、なぜですか？

A 8：

冷蔵庫の省エネ基準は、冷却方式（自然対流式と強制循環式）と定格内容積による3つの区分があり、それぞれ、貯蔵室の種類や容量によって決まる年間消費電力量の省エネ基準値が定められています。そのため、同じ年間消費電力量でも、省エネ基準値が異なることがあり、省エネ基準達成率も異なります。

6-1. Q&A（省エネルギーラベル④）

エアコンの例



Q9：エアコンでAPFが同じなのに、省エネ基準達成率が異なる製品があるのは、なぜですか？

A9：

エアコンの省エネ基準は、ユニットの形態（壁掛形、壁掛形以外、マルチタイプ）、冷房能力、仕様（一般地、寒冷地）による10の区分があり、それぞれAPFによる省エネ基準値が定められています。そのため、区分が異なると同じAPFでも省エネ基準達成率が異なります。

※QA9：4-3.多段階評価基準の変更【見直し②の背景と課題】 参照

エアコン（寒冷地仕様）の例



6-1. Q&A（省エネルギーラベル⑤）

Q10：省エネ基準達成率が同じでも、多段階評価点が異なるのはなぜですか？

A10：

省エネ基準は、機器内に設けられた区分ごとに定められています。

例えば、冷蔵庫には3区分があります（区分a：自然対流式、区分b：強制循環式(定格内容量375ℓ以下)、区分c：強制循環式(定格内容量375ℓ超)。

省エネ基準達成率は、各区分の省エネ基準と比較して求めています。

一方、多段階評価点は、区分に関わらず出荷数量が多い機器の区分の省エネ基準と比較して求めています。

省エネ基準達成率と多段階評価点とでは算出する方法が異なるため、省エネ基準達成率が同じ製品であっても、多段階評価点が異なることがあります。

補足として、省エネ基準達成率では区分が異なる製品の省エネ性能を比べることはできませんが、多段階評価点であれば、省エネ基準の区分が異なる製品であっても省エネ性能を比べることができます。

※QA10：2-6.省エネルギーラベル制度の概要

4-3.多段階評価基準の変更【見直し②の背景と課題】

4-3.多段階評価基準の変更【課題解決の取組】 参照

6-1. Q&A（年間目安エネルギー料金①）

冷蔵庫の例



Q 1：使用時間や使い方によって電気代も異なりますが・・・

A 1：

そのとおりです。たとえばエアコンは、使用時間のほかにも、外気温度、設定温度、住宅性能等によって異なります。ラベルに記載されているのは、一定の条件のもとで使用した場合の年間の目安電気料金です。

Q 2：照明器具の「年間目安エネルギー料金」は何時間使用した場合ですか？

A 2：

年間2,000時間です。1日平均約5.5時間に相当します。

Q 3：テレビの「年間目安エネルギー料金」は何時間視聴した場合ですか？

A 3：

1日5.1時間です。オンタイム（リアルタイム）の視聴だけではなく、録画視聴やネット利用に係る時間も考慮しています。

※QA1：3-3.統一省エネラベルの対象機器と表示内容 参照
※QA2：3-3.統一省エネラベルの対象機器と表示内容 参照
※QA3：3-3.統一省エネラベルの対象機器と表示内容 参照

6-1. Q&A（年間目安エネルギー料金②）

エアコンの例



Q4：エアコンの「年間目安エネルギー料金」は何時間使用した場合ですか？

A4：

1日の使用時間は、6:00～24:00の18時間のうち、外気温度が特定の条件を満たした時間（冷房時：外気温度が23℃以上、暖房時：外気温度が17℃以下）で計算しています。また、冷房期間は5月23日から10月4日、暖房期間は11月8日から4月16日として計算しています。

Q5：エアコンの「年間目安エネルギー料金」はどの地域で使用した場合ですか？

A5：

東京の外気温度をモデルとしています。「年間目安エネルギー料金」に地域係数（例：盛岡の場合2.4）を掛けると、その地域の年間の目安エネルギー料金を算出できます。
各地域の地域係数は「3-4. エアコンの統一省エネラベル」をご参照ください。

※QA4：3-4. エアコンの統一省エネラベル 参照

※QA5：3-4. エアコンの統一省エネラベル 参照

6-1. Q&A（年間目安エネルギー料金③）

冷蔵庫の例



Q 6 : 「年間目安エネルギー料金」は電力単価をいくらで計算していますか？

A 6 :
1kWh当たり27円です。
電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）については、1kWh当たり23円（寒冷地仕様以外）、または1kWh当たり20円（寒冷地仕様）です。

Q 7 : ★の数や評価点（左上のラベルでは「2.7」）と、「年間目安エネルギー料金」の関係は？

A 7 :
基本的には、★の数が多いほど、評価点が高いほど、年間目安エネルギー料金は安くなります。省エネ性能が優れている製品ほど、年間目安エネルギー料金が安くなります。
ただし、温水機器は、使用する地域の外気温度、世帯人数、使用するエネルギーの種類によって、評価点や★の数、年間目安エネルギー料金が大きく変化します。そのため、使用するエネルギーの種類が異なる製品を比較する場合は、評価点や★の数と、年間目安エネルギー料金は必ずしも関連しません。

※QA6 : 3-9. 年間目安エネルギー料金のエネルギー単価 参照

6-1. Q&A（年間目安エネルギー料金④）

温水機器の例



Q 8：温水機器のラベルには、使用地域や世帯人数、エネルギー単価の注意書きがありますが、なぜですか。

A 8：

温水機器は、使用する地域の外気温度、世帯人数、使用するエネルギーの種類によって、年間の目安エネルギー料金が大きく変化します。

そのため、ラベルに記載されている年間目安エネルギー料金は、東京・大阪^{*1}の外気温度で4人世帯^{*2}を想定した場合のものであることが説明されています。その他の地域や世帯人数の場合には、ラベル上のQRコードからアクセスできる換算アプリで確認します。

* 1：寒冷地仕様の電気温水機器は「盛岡」

* 2：少人数仕様の電気温水機器は「2人世帯」

Q 9：温水機器の「年間目安エネルギー料金」はエネルギー単価をいくらで計算していますか？

A 9：

電気温水機器（寒冷地仕様以外）：電気代単価 23円/kWh

電気温水機器（寒冷地仕様）：電気代単価 20円/kWh

ガス温水機器：都市ガス単価 156円/m³、液化石油ガス(LPガス)単価 706円/m³

石油温水機器：灯油単価 88円/ℓ

ラベル上のQRコードからアクセスする換算アプリでは、異なる単価での試算も可能です。

※QA8：3-9. 年間目安エネルギー料金のエネルギー単価 参照

3-6. 温水機器の統一省エネラベル：換算アプリの使い方 参照

※QA9：3-9. 年間目安エネルギー料金のエネルギー単価 参照

3-6. 温水機器の統一省エネラベル：換算アプリの使い方 参照

6-1. Q&A（統一省エネラベル・その他①）

冷蔵庫の例



Q1：このラベルは、どの機器に貼られていますか？

A1：

エアコン、照明器具（蛍光灯器具、LED電灯器具）、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、電気便座、温水機器（電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）、ガス温水機器、石油温水機器）です。

この内、温水機器のラベルは下部にQRコードが付いています。
機器単体のエネルギー消費量が特に多く、製品の省エネ性能の差が大きい機器が、ラベルの対象です。

温水機器の例



Q2：ラベルはどこに貼られていますか？

A2：

製品本体またはその近くに貼ることになっています。インターネットで販売される際は、製品が掲載されているページの、製品の近くに表示することになっています。

Q3：なぜラベルを改定したのですか？

A3：

製品をより比較しやすく、ラベルをより見やすく・表示しやすくするためです。また、メーカーに、より省エネ性能が優れている製品を作ってもらうためです。

※QA1：3-3.統一省エネラベルの対象機器と表示内容 参照

3-5.温水機器の統一省エネラベル 参照

※QA2：3-2.小売事業者表示制度の概要 参照

※QA3：4-1.統一省エネラベルの3つの大きな見直し 参照

6-1. Q&A（統一省エネラベル・その他②）

温水機器の例



エアコン（寒冷地仕様）の例



Q4：温水機器のラベルにあるQRコードはどのように使えば良いですか？

A4：

QRコードは、ラベルに表示されている多段階評価点や年間目安エネルギー料金的前提条件である地域や世帯人数^{*1}、エネルギー単価^{*2}が使用する条件と異なっている場合に使用します。

QRコードを読み取ると換算アプリが開きます。画面上の指示にしたがって必要情報を入力し、ラベルに記載されている前提条件とは異なる地域、世帯人数、エネルギー単価を入力／選択すると、それに応じた多段階評価点や年間目安エネルギー料金に換算することができます。

*1:

東京・大阪（寒冷地仕様は盛岡）の外気温度で4人世帯（少人数仕様は2人世帯）での使用を想定。

*2:

電気温水機器（寒冷地仕様以外）：電気代単価 23円/kWh

電気温水機器（寒冷地仕様）：電気代単価 20円/kWh

ガス温水機器：都市ガス単価 156円/m³、液化石油ガス(LPガス)単価 706円/m³

石油温水機器：灯油単価 88円/ℓ

Q5：エアコンの統一省エネラベルのうち、「寒冷地仕様」ラベルとはどのようなラベルですか？

A5：

積雪や低温による故障を防止するように設計等された「寒冷地仕様」のエアコンに表示されるラベルです。寒冷地でのエアコン選びの際には、この「寒冷地仕様」のラベルを参考にしましょう。

6-1. Q&A（ミニラベル）

ミニラベルの例



Q1：これは何のラベルですか？

A1：

製品の省エネ性能を表したラベルです。★の数が多いほど、数字（評価点）が大きいほど、省エネ性能が優れていることを示します。

統一省エネラベルのミニラベルです。省エネ性能の箇所だけを取り出してコンパクトにしたものです。

統一省エネラベルを表示するスペースがない場合にも表示できるように、新しく作られました。

＊温水機器にはミニラベルはありません。

Q2：温水機器にはなぜミニラベルがないのですか？

A2：

ミニラベルでは、温水機器の多段階評価点や年間目安エネルギー料金の説明に必要な、使用地域の外気温度や世帯人数、エネルギー単価の情報や、換算アプリにアクセスするためのQRコードを、お客様に提供できないからです。

※QA1：3-7. 統一省エネラベルのミニラベル 参照

※QA2：4-3. 多段階評価基準の変更【課題解決の取組：温水機器】

3-6. 温水機器の統一省エネラベル：換算アプリの使い方 参照

6-1. Q&A（簡易版ラベル）

簡易版ラベル（電球の例）

省エネ性能

	省エネ基準達成率	エネルギー消費効率
目標年度2021年度	130 %	128.5 lm/W

メーカー名 | 機種名

この製品を1年間（1日に5.5時間）使用した場合の目安電気料金

230 円

目安電気料金は使用条件や電力会社等により異なります。
使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

LTB-R0211

Q1：★マークや数字（評価点）がないラベルや、年間目安エネルギー料金が書かれていないラベルがありますが・・・？

A1：
機器ごとに、その機器市場や特性に応じて表示する項目が決まっています。
たとえば、電球は、省エネルギーラベルと年間目安エネルギー料金を、ストーブは、省エネルギーラベルを示しています。

簡易版ラベル（ストーブの例）

省エネ性能

	省エネ基準達成率	エネルギー消費効率
目標年度2006年度	100 %	82.7 %

メーカー名 | 機種名

使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

SPH-R0211

※QA1：3-2. 小売事業者表示制度の概要
3-8：簡易版ラベル 参照

6-1. Q&A（買換え試算）

“しんきゅうさん”



Q1：今使っている製品を買換えるとどのくらいお得かを知りたい。

A1：

“しんきゅうさん”（運営：環境省）で試算できます。
<https://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/>



メニュー「かんたん比較」（一定の条件で使った場合の比較）では、今使っている機器の購入年、サイズ等、メーカー、型番と、買換え予定の機器の情報を入力します。
メニュー「省エネランキング」では、同じサイズ等の製品について、省エネ性能が優れた順に一覧表示します。
比較できる製品等の詳細は「しんきゅうさん」で確認してください。

※QA1：5-1.2つの支援ツール、5-6.「しんきゅうさん」の使い方 参照

6-2. 例題①

製品A

(寒冷地仕様エアコン)



製品A（寒冷地仕様エアコン）のラベルを使って、お客様（岩手県盛岡市在住）に寒冷地エアコンをお勧めし、ラベルの見方や地域係数（2.4）を使った盛岡市で使用情况の場合の年間の目安エネルギー料金について説明してみましょう。

6-2. 例題①-解説

製品A (寒冷地仕様エアコン)



解説：寒冷地でエアコンをお使いになる際は、積雪や低温による故障を防止するように設計等された「寒冷地仕様」のエアコンがお勧めです。

★の数（又は★の数の右側の数値）は、この製品の省エネ性能が市場にあるエアコンの中でどこに位置しているか（相対評価）を表しています。★の数が多いほど（又は★の数の右側の数値が大きいほど）、より省エネ性能が優れた製品です。

金額は、一定の条件で使用した場合の年間の目安エネルギー料金です。東京の外気温度をモデルとしています。盛岡で使用する場合は、これに2.4を掛けた46,080円が目安となります。より実際に近い年間の目安エネルギー料金も参考にしましょう。

6-2. 例題②

製品A
(冷蔵庫)



製品B
(冷蔵庫)



製品C
(冷蔵庫)



冷蔵庫を買換えたいというお客さまに対して、以下の3製品を使って説明してみましょう。
(容量はほぼ同じ製品)

6-2. 例題②-解説

製品A
(冷蔵庫)



製品B
(冷蔵庫)



製品C
(冷蔵庫)



解説：

冷蔵庫は24時間、365日電気を使っています。省エネ性能をチェックしましょう。
このラベル（統一省エネラベル）をご覧ください。製品の省エネ性能を★の数や点数で表しています。★の数が多いほど、点数が大きいほどより省エネ性能が優れている製品です。「目安電気料金」は一定の条件で1年間使ったときの電気料金です。

たとえば、製品Aは2つ★、製品Bは2つ半★ですので、製品Bの方が省エネ性能が優れています。製品Bと製品Cはどちらも2つ半★です。しかし、★の右側の数字が、製品Bは2.5、製品Cは2.9ですので、製品Cの方が省エネ性能が優れていることが分かります。年間目安エネルギー料金も、製品Cが最も安くなっています。

6-2. 例題③

製品A
(LED)



製品B
(LED)



蛍光灯シーリングライトを使っているお客様に、製品Aと製品BのLEDシーリングライトの違いを説明しながら、LEDシーリングライトをお勧めしてみましょう。

6-2. 例題③-解説

製品A
(LED)



製品B
(LED)



解説：LED照明は、蛍光灯に比べて消費電力が小さく、寿命も長いのでお勧めです。

製品Aと製品Bを比較すると、★の数が多い（又は★の数の右側の数値が大きい）製品Aの方がより省エネです。年間目安エネルギー料金は、1年間に約2,000時間（1日平均約5.5時間）使った場合の目安のエネルギー料金です。製品Aと製品Bの年間目安エネルギー料金の差は550円です。使用時間が11時間であれば、2倍の1,100円に、10年間で11,000円の差となります。

6-2. 例題④

製品A (温水機器)



製品Aのラベル（電気温水機器（寒冷地仕様以外、標準（4人）世帯））を使って、お客様（福岡県福岡市在住、3人世帯）に、ラベルの見方についてQRコードも活用しながら説明してみましよう。

6-2. 例題④-解説

製品A（温水機器）



解説：★の数（又は★の数の右側の数値）は、この製品の省エネ性能が市場にある温水機器の中でどこに位置しているか（相対評価）を表しています。★の数が多いほど（又は★の数の右側の数値が大きいほど）、より省エネ性能が優れた製品です。

温水機器は、電気温水機器（ヒートポンプ給湯機）、ガス温水機器、石油温水機器について、同じ評価基準（一次エネルギー効率）で評価しています。

金額は、一定の条件で使用した場合の年間の目安エネルギー料金です。温水機器は、使用する地域の外気温度、世帯人数、使用するエネルギーの種類によって、年間の目安エネルギー料金が大きく変化します。ラベルは、東京・大阪の外気温度で4人世帯の場合の電気温水機器の評価と年間目安エネルギー料金を示しています。お客様の場合（福岡県福岡市在住、3人世帯）の評価と料金は、QRコードからアクセスした換算アプリ画面で地域や世帯人数を入力することで示すことができます。



経済産業省
資源エネルギー庁

